

GOVERNOR'S

2017-18 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760・ガバナー月信

2018
April

MONTHLY LETTER



2760地区女性会員座談会（東海東京証券 オルクドールサロン）

● CONTENTS

- 02 ガバナーメッセージ
- 03 「母子の健康月間」に寄せて
- 04 【連載】クラブ紹介 名古屋宮の杜ロータリークラブ
- 06 【特集】2760 地区 女性会員座談会
- 12 ガバナー公式訪問報告（田原 RAC）
- 13 補助金管理セミナー報告
- 14 地区チーム研修セミナー開催報告
- 15 会長エレクト研修セミナー（PETS）開催報告
- 16 東三河分区 I.M. 報告
- 17 西名古屋分区 I.M. 報告
- 18 南尾張分区 I.M. 報告
- 19 西三河中分区 I.M. 報告
- 20 西三河分区 I.M. 報告
- 21 東名古屋分区 I.M. 報告
- 22 一人一本の植樹事業 植樹式
- 23 桜の回廊プロジェクト
- 24 ローターアクトアジア第2ゾーン会議について
- 25 地区ローターアクト海外研修について
- 26 新クラブの紹介 愛知三州ロータリークラブ
- 27 役に立つかもしれないシリーズ 11（名古屋名駅 RC）
- 30 役に立つかもしれないシリーズ 12（名古屋名駅 RC）
- 32 風の便り
- 34 ハイライトよねやま
- 36 財団室 NEWS
- 42 コーディネーター NEWS
- 43 文庫通信
- 44 会員数及び出席報告



ロータリー：
変化をもたらす

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第 2760 地区
2017-18 年度ガバナー
神野重行

例年以上の厳しい寒さが続いたこの冬でしたが、彼岸とともに桜も開花して一気に春の様相になりました。

今年度もあと3か月になり、PETS や地区・研修協議会など次年度に向けての諸行事が始まっている一方で、ガバナーとしては残された任務の遂行に頑張るつもりです。会員皆さんにおかれましても、個人とクラブの年度目標達成にご尽力いただくようお願い申し上げます。

先月1日に台湾の高雄で「第6回日台親善会議」が開かれ、地区からは斎藤直美 RI 理事はじめ、私を含めて13名が参加しました。当初、日本から500名、台湾から500名の都合1000名の参加という予定でしたが、日本からの参加者が650名まで膨らみ、台湾の人気の大きさを実感した次第です。式典そのものは幾つかの事例発表と表彰状・感謝状の伝達など、儀礼的な形で終わりましたが、1930年に作られた「烏山頭ダム（八田ダム）」建設で一層緊密になった日台両国の強い絆をあらためて感じた一日でした。

その「烏山頭ダム」は昭和のはじめ、我が国の統治下にあった台湾の南部（現在の日南市）に10年の月日をかけて1930年に完成したダムで、その工事を陣頭指揮した石川県金沢市出身の八田與一氏の名前をとって八田ダムといわれています。このダム湖によって、灌漑用水だけでなく地域の人々の生活は大きく改善され、今でも台湾の皆さんに感謝されています。

ところで今月はロータリーの「母子の健康月間」です。日本をはじめ先進各国では、女性の医療機関での受診は当たり前ですが、世界ではまだ女性というだけで医療機関での診察が受けられない国があります。私の所属している「名古屋名駅ロータリークラブ」は、グローバル補助金を使って、台北建成 RC と一緒に、バングラディッシュで「サイクロンシェルター」の建設と、併設した建物を活用しての女性の健康診断・診察ができる施設を作りました。残念ながらバングラディッシュの政情不安で、まだ現地の視察に行けていませんが、スカイプで見たところでは診断を待つ女性の長い列が確認できています。早く世界中どの地域でも老若男女分け隔てなく医療行為を受けられるようになってほしいものです。

さて今月号の表紙写真は先月行った地区の女性会員懇談会の様子です。私ども RI 第2760地区は会員数では現在日本一になっていますが、女性会員比率は我が国の平均を2%も下回る4.7%です。世界でよいことをしようという我々ロータリーが、本当に地域に根差し、地域の皆さんと一緒に行動しようとするときに女性の存在と力は欠かせません。会員皆さんは是非この懇談会の内容をお読みいただき、これからのロータリーの在り方を考え行動に移していただくことを願っています。



「母子の健康月間」に寄せて

『母子の健康』はRI重点分野における総合評価指標

特定医療法人 衆済会 増子記念病院 理事長・院長

両角 國男 (名古屋名駅 RC)



UNICEFの世界子供白書は、『母子の健康』の指標である新生児・5歳未満乳幼児死亡率、妊産婦死亡率などで世界の厳しい現実を示しています。2015年の5歳未満乳幼児死亡率と新生児死亡率(1000人当たり死亡数)は、日本の6と3に対し、世界平均では43と32、最も不良な西・中部アフリカは99と32で、日本の10倍以上です。1990年との比較では世界平均も西・中部アフリカも死亡率は50%以下まで改善してきていますが、まだまだ改善が望まれます。新生児や乳幼児の死亡原因は、肺炎、下痢性感染症、HIVなどの各種感染症、低栄養や衛生教育・医療環境の整備遅れ、地域紛争など多岐にわたりますが、死亡原因の多くはワクチンや抗生剤投与、きれいな飲料水確保や衛生環境改善、適正な健康教育などの対策にて短期間で劇的改善の期待できる対費用効果の非常に高い課題です。妊産婦死亡率(1例の妊産婦死亡あたりの妊娠件数)は、日本の13400に対し、世界平均では180、中・西部アフリカでは27と日本の500倍に相当し、この地域での妊娠出産はまさに命がけといえます。避妊教育、出産前後までの衛生環境と適正な医療体制整備により、安全な妊娠出産ができる支援が必要なことは自明です。

一方、日本の『母子の健康』についても、「子どもと母親」の不幸な出来事がメディアに繰り返し報道される事実があります。不幸な出来事に至る前に恵まれない環境にある母子を確認し適正な社会支援をすることが必要ですが、個々の事例の背景を把握する手段もなく、具体的対策を講ずることはきわめて困難です。

『母子の健康』はRIの6重要分野の1つですが、疾病との闘い、水と衛生、教育の支援、地域経済の成長、平和の推進の5分野で積極的な活動が成果として結実すると乳幼児・新生児死亡率の改善、妊産婦死亡率などの改善につながる総合評価の指標ともいえます。

日本で現実に起きている問題や、改善が望まれる国や地域の実情を知り、各ロータリークラブや個人として『母子の健康』の何を対象にどのように活動するかを考えていただく参考となれば幸甚です。



名古屋宮の杜ロータリークラブ

RI加盟承認：2016（平成28）年12月5日
会長 酒井 俊皓

名古屋宮の杜ロータリークラブ（以下、当クラブという）は、2016年12月5日RI加盟承認、2017年1月19日創立、2017年3月9日認証状伝達式と、出来たての新しいクラブです。当クラブの特徴は、例会は2016年の新しいRIの規約に基づき、原則として月2回（第1、第3木曜日）の開催となっており、また創立時会員42名（現在会員44名、名誉会員2名を除く）のうち、ロータリー経験者は4名で会員の平均年齢が49.1歳と名実ともに若いクラブです。

今年度は「ロータリーを理解し、ロータリーを楽しもう」のクラブ方針のもと、第1例会はロータリー理解例会として、ロータリーの目的、基本理念、歴史等を学びメンバーの意識向上に努めています。しかし、年度当初は、ベテランのロータリー経験者と若いメンバーとのロータリーに対する意識の違いや若いメンバーのロータリーに対する未理解や帰属意識の薄さからホームクラブへの出席が必ずしも活発ではなく（形式的にはメイクアップで100%は維持）、若干名ではありますが退会という声も聞こえてきました。そこで会長と入会紹介者で個別に席を設け、相談等に乗るようにしました。また会長エレクトも独自に数名単位で話し合いをしてくれました。特に若いメンバーが積極的に出席につき働きかけてくれたことにより、12月の家族例会では、メンバーが見事に一体となって盛り上がり、現在は積極的に例会に出席するようになり、賑やかな雰囲気となっています。

会員増強は、公共イメージの向上も兼ねて当クラブ独自のパンフレットを作成し、全会員で取り組んでいます。本年1月に2名の新入会員を迎え、本年度中には、あと3名の新入会員入会が予定されています。



2017-18年度クリスマス家族会での集合写真

【連載】クラブ紹介（7回目）名古屋宮の杜ロータリークラブ

社会奉仕については、未だ自前の活動はありませんが、以下の RCC4 団体の活動支援をしています。

① OKUDA 弁慶号

「子供たちの夢と笑顔をのせて！」を合言葉に、2分1モデルの軽便鉄道用蒸気機関車に子供たちを乗せて走ります。3月3、4日熊本県益城町で走らせました。(中京テレビで放映)

② わっしょい太鼓祭

「和の精神」の醸成、地域コミュニティの活性化を目的として開催される太鼓祭りでは、老若男女を問わず幅広い市民の交流の場となっています。昨年10月14、15日のWFFに参加しました。

③ リニモ沿線合同大学祭

リニモ沿線の11大学の学生有志によって構成され、「助け合えるまち」を目指して地域コミュニティの強化、地域の魅力発展に貢献しています。

④ NGU ラブリッジ名古屋

愛知県内の日本女子サッカーリーグ加盟のチームで、小学生、ジュニアユースからトップチームまでを対象とした活動を通じて、女子サッカーの普及発展に貢献しています。

当クラブは、歴史はありませんが若さがあります。若い発想と活動力でロータリー活動を楽しんで行っています。この一步一步が歴史を創って行くと確信していますので、ぜひ5年後、10年後をご期待ください。



左上：熊本被災地復興支援(OKUDA 弁慶号) 左下：立浪和義氏卓話 右：WFF(わっしょい太鼓祭)

【特集】 2760地区 女性会員座談会

2018年3月8日（木）

於：大名古屋ビルヂング 東海東京証券株式会社 オルクトール・サロン

地区会員増強委員会



左：梅村公代さん（豊田中） 右：菊地富士子さん（名古屋アイリス）

地区会員増強委員会では3月8日、女性会員5名に集まっていたいただき「女性会員座談会」を開催しました。くつろいだ雰囲気の中、女性会員の現状や思い、今後の会員増強のヒントなどについて様々なお話を聞かせていただきました。

◇ディスカッションリーダー（DL）

石井弘子 地区会員増強委員
（名古屋錦 RC / 東名古屋分区）

◇出席者（クラブ名・加盟承認年／分区）

杉山知子（半田南・1980（S55）／南尾張）
山田秀代（一宮中央・1990（H2）／西尾張）
松永洋子（尾張旭・1971（S46）／東尾張）
菊地富士子（名古屋アイリス・2013（H25）／東名古屋）
梅村公代（豊田中・2000（H12）／西三河中）
（敬称略）

●石井（DL）：皆さん、今日は何の日かご存じですよ。国際女性デーです。だから3月8日にしたわけではなく、たまたまこの日になったのですけれど、これも何かのご縁だと思います。今日は、私たち女性会員について知っていただくと共に、私たち女性会員や、女性会員と一緒に

にロータリーを作っていこうと思う男性会員がもっと居心地よくロータリー活動をしていくために、これからどうしたらいいのか話し合いたいと思います。私は、ディスカッションリーダーを担当します名古屋錦 RC の石井弘子です。入会して9年で、今までに幹事、会長をやって、なぜか次期はまた幹事をいたします。皆さんもまず自己紹介をお願いします。

●松永：尾張旭 RC、松永洋子です。入会して2年経っていないので、わからないことばかりの状態です。クラブは今20名で、女性会員は2人です。ニコボックス委員長をしております。仕事は不動産屋です。

●山田：一宮中央 RC の山田秀代です。入会して9年目です。一宮中央 RC は2760地区で最初に女性会員ができたクラブで、現在は45名中6名が女性です。例会は夜間例会ですので、終わった後に飲みに行くこともあって、男性も女性も

すごくうまくコミュニケーションが取れているクラブだと思います。職業は自動車販売修理業をやっております。

●**杉山**：半田南 RC の杉山知子です。入会して6年目です。34名の会員で女性は私1人です。私が入会した時にはもう1名いたのですが、1年程で抜けられ、そこからずっと1人です。歯科医師をしています。父も半田南 RC におり、父が亡くなった後、歯科医師会の先生でもあった会長さんから、「お父さんのあとを引き継ぐよね」とお誘いいただき入会しました。

●**梅村**：豊田中 RC の梅村公代と申します。画廊を経営しています。入会して18年ですので、多分この中で一番古いかなと思います。現在会長エレクトをさせていただいています。うちも夜間例会で、会員は53名、女性は8名です。次年度7月からあと2名確約をいただいていますので10名になります。私は豊田中 RC のチャーターメンバーですが、その時から4名の女性会員がいました。移籍ではなく、新しいメンバーばかりのクラブとしてスタートしましたので、上下関係もなく居心地のいいクラブです。女性も理事などいろいろな役職をしていて、男女の関係なく和気あいあいとしています。

●**菊地**：アイリス RC の菊地富士子です。薬局をしております。アイリス RC は5年前に設立され、私もチャーターメンバーとして入りました。会員は44名で女性は15名、3分の1くらいが女性です（他の出席者から「えー」と驚きの声）。まだ5年目ですので、女性だから、男性だから、ということではなく、できる人がそれぞれのお役をこなしていくという感じです。

ロータリーに入ったきっかけは？

●**石井 (DL)**：皆さん、今日はどんな方たちとお話をするのか大体わかっていただけたと思います。少し仰ってくださった方もいますが、まずロータリーにお入りになったきっかけを聞かせてください。

●**梅村**：クラブを作られる時に会員を募っていたんですね。最初100名くらいリストがあった

と思います。その中から53名が入りました。JC に在籍していましたので、先輩や知り合いがいっぱいいて、入るのが当たり前という感じでした。

●**菊地**：私は、若鯨やライオンズにもお声をかけていただいたことがあったのですが、タイミングの問題もあってお断りしていました。その後、「どうしても」とお誘いくださったので、そのまま流れに乗って入りました。

●**石井 (DL)**：誘ってくださったのはどういう方？

●**菊地**：家族ぐるみの知り合いでした。長い信頼関係もあり、私のことをよく知ってくださっている方に誘っていただいたので、足を踏み入れやすかったです。

●**松永**：私は漠然と、「子供の手が離れたら地域に貢献できたらいいな」と思っていたのですが、たまたまご近所にいらしたロータリアンの方に誘われて入会しました。その方は最初は父を誘っていたのですが、父が病気になってしまって「じゃあ娘に」という流れです。あまり深く考えずに入りましたが、今は、その方から「自分のためになるから」と言われたことが、少しずつわかってきたような気がします。

●**山田**：私は20年前と15年前に、他のクラブに誘われたことがありました。でも、自分も若くて仕事をバリバリやっている時で、お昼の時間がもったいなかったし、どちらのクラブも女性会員が1人もいなかったのでお断りしました。その後、一宮中央 RC に誘われたのですが、誘っていただいた方が、私の娘をインターアクトのハワイ研修に連れて行ってくださった方で、27年前に一宮中央 RC を作られた方でした。娘がお世話になった方だったので断りきれず、3度目の正直で入れていただきました。

●**石井 (DL)**：皆さんいろいろあってお入りになったということですが、入ってみてどう思いましたか？

●**杉山**：私は人見知りなので、最初は例会に行ってもなかなか皆さんに声をかけることができま

せんでした。それに、私の入会時にいらした女性会員の方が辞められた時は、「私1人になっちゃった」みたいな感じはありました。ただ、半田の歯科医師会でも、97人のうち女性は3人だけです。ですから、男性ばかりの環境には慣れていましたし、一昨年からクラブのゴルフに参加するようになったり、去年10月に米山奨学生のカウンセラーになったりして、一步一步クラブの中に入っていったかなという感じです。

●菊地：私も米山奨学生のカウンセラーをしたり、地区の行事や今日のような会に出たり、米山のバス旅行に参加したりすることで、今まで接したことのない人たちと触れ合えて、ロータリーっていいなと思いました。ロータリアンというだけで安心してお付き合いできます。クラブ内はもちろんですが、エリアの違う人たちとコミュニケーションできることが大きな魅力です。

●山田：私は入った時、紹介していただいた方しかわからない状態でしたが、入ったその日の夜に歓迎会をやっていただいたんです。10人くらいの方が集まってくださって、飲んで話をしていると、ああ、話が合うなと思いました。

●石井 (DL)：山田さんは飲めるんですね。

●山田：はい。うちのクラブは、新入会員が入ってきた日の夜は必ず歓迎会をすることになっていて、誰でもすぐに溶け込めるとしています。昼間の例会と違って、夜って仕事を終えた後のちょっとゆったりした気分で会ができるから、心までみんな開いてしまうんです。

ロータリーに入ってよかったことは？

●石井 (DL)：では皆さん、お入りになって、よかったなと思ったことは何ですか？

●松永：普段では知り得ない方と知り合え、なかなかできない体験をさせてもらえることです。すごく素敵なお茶室を持っている方がいて、去年そこでお茶会を開いていただいて、それはすごくよかったなと思います。

●梅村：私はロータリーに入って長いのですが、入ったばかりの頃にチャーターナイトの司会をさせていただいたんですね。800名の大人数でしたのですごく緊張しました。でも、なかなか経験できないことですし、ましてやチャーターナイトという記念すべき式典ですので、緊張しつつも、貴重な経験をさせていただいたかなと思っています。

●杉山：私は、奨学生のカウンセラーをしていて、彼女たちの頑張っている姿にすごく刺激を受けています。普段仕事は1人でやっていますので、極端に言えば、手を抜こうと思えばいくらでも抜けます。だけど、彼女たちと話をしたり相談に乗ったりしていると、「私ももっと頑張らないとな」と思わせてもらえます。もう1つは、仕事以外のことで何かわからないことがあった時、「それはあの人が詳しいよ」と教えてくれたり、何人か集まって「そういうのはこうしたらいいんじゃない？」と相談に乗ってくれたりするところもいいなと思います。

●石井 (DL)：確かに、仕事をしているとどうしてもその職業の常識の中に入ってしまったけど、ロータリーに行くといろいろな職業の方がいるから、自分の世界が大きくなる感じがありますね。

●菊地：私はよかったことと言われて「これ」と言えるものは思い浮かばないのですが、逆に、ロータリーで経験したこと一つ一つがそうなのかなという気がします。最近のことで言えば、ロータリーとは関係のない会でお目にかかった方が胸にロータリーバッジを付けられていて、「ロータリアンなんですね」と声をかけたら、距離がぐっと一気に縮まりました。それには驚きました。

●山田：一宮中央 RC ではカンボジアの奉仕活動をやっていて、私も5年行っています。そういうものは自分だけではできなくて、ロータリーに入って、それに乗っかることでできるようになったわけです。それがやってきてよかったかなと思うことです。炊事場を作って贈ったのですが、学校にも行けないような子供たちが給食が食べられるから学校へ来る、という世界

なんですね。喜んでもらえるのとやりがいがありますし、喜んでくれることに対して自分も喜びを感じられます。

●石井 (DL) : 皆さん、居心地よくロータリー活動を楽しんでいらっしゃるようですが、では、今よりさらにロータリーを居心地よくするためのアイデアは何かありませんか？

●松永 : 1つ質問してもいいですか。夜間例会というのは、毎回夜間なのですか？

●山田 : はい。

●松永 : へー、そうなんですね。それはいいですね。お友達を誘うにも、「ちょっと昼間だと出られない」と言われることが多くて。毎回というのはびっくりしました。それこそ、毎回飲み会になりますね。

●山田 : はい。だから仲良しなんですよ。

●石井 (DL) : うちのクラブは錦の真ん中でやっていて、昔は夜間例会だったんです。そうすると、当然のように例会の後に飲みに行ってしまうものですから、体に悪いということで昼間になりました。

●梅村 : うちには以前は通常の昼間の例会だったんですね。でも、会員数が減り、夜間の例会にした方が若い人も集めやすいということで、夜間例会に変更しました。やはり若い方は昼間働かなければいけない時期じゃないですか。夜間例会にしたら、30代、40代の方が増えてきたんです。終わってから飲みに行くことも多くて、それも楽しみに例会に出ていらっしゃる方が増えました。

●石井 (DL) : なるほど、夜間例会にするという手もあるんですね。



左: 杉山知子さん (半田南) 中: 山田秀代さん (一宮中央)
右: 松永洋子さん (尾張旭)

なぜこの地区には女性会員が少ないか？

●石井 (DL) : ところで、30年前までロータリーに女性はいれませんでした。今では世界的には5人に1人が女性です。しかし、日本では20人に1人、東京地区は10人に1人、それがこの地区は25人に1人です。随分差があるんですね。なぜこの地区には女性会員が少ないと思われませんか？

●梅村 : 古いクラブほど、「クラブは男性のもの」という考えがあって、年配の方がNOと言われると思うんですね。でも、古い会員の方が少しずつ減って、若い方が沢山入られていますので、時代と共に女性会員は増えていくと思います。

●石井 (DL) : この地区の中でも一概に言えないのが難しいところです。「絶対に女性を入れない」とはどのクラブも仰いませんが、事実上女性を入れないんだと思われるクラブと、女性を入れないと本当に思っているけれど女性が入ってこないクラブがあります。先程も、「たった1人の女性会員になってしまうと二の足を踏んでしまう」というご意見がありましたよね。初めの1人を開拓するのが非常に大変で、今女性がゼロだからといって、必ずしも女性を入れないわけではないわけではありません。

●菊地 : 私がお友達にお声がけするとよく「女性はいれないでしょ」と言われます。「うちのクラブは入れますよ」と言うのですが、「えっ、入れるクラブあるの？」という感じな

ので、まだ「ロータリーに女性は入れない」という認識が一般には強いのではないかなと思います。

●石井 (DL)：それは、いまだにそうですね。確かに、男性しか入れないと思っていたら、女性が入ってくるはずがないですからね。女性が入れるようになって30年も経つし、現にうちのクラブは創立22年で初めから女性がいました。それなのにいまだに「女性は入れない」というイメージがあるのは、一体何でしょう。それこそ広報や公共イメージの方で頑張っていたかなければいけないと思います。

●松永：広報に関連してですが、私は子供が3人いて、ドッジボール大会やサッカー大会でメダルをもらっていたんです。でもそれがロータリーからの寄贈だということ知らなくて、ロータリーに入って初めて知りました。「あら、そうだったの」と思って家に帰って裏を見たらちゃんと刻印されていて、申しわけなかったなと思いました。

●石井 (DL)：どなたからいただいたの？ 贈呈式に会長さんなどいらっしやらなかった？

●松永：保護者として行っていただけなので全然覚えていないんです。子ども会や部活の大会だったのですけれど、市からもらっているものとばかり思っていました。

●山田：私たちも少年サッカー大会を毎年やっていますので、ロータリーからみんなお手伝いをして、優勝カップとか、そういうものもみんな出していますよ。

●石井 (DL)：そんなことは保護者は気にしないですものね。同じような話だけど、うちのクラブも農業体験を13年間続けていて、名古屋の子供たちを岡崎に連れて行って田植えや稲刈りをさせる、という活動をしてきたの。だけど、10年目に子供たちから「ライオンズクラブの皆様」と言われたの。確かに広報が足りないですね。

●山田：コマーシャルが下手ですよ。

●石井 (DL)：陰徳を積むというのは、すごく奥ゆかしくてよい心がけだけれども、やったことの報告はしなければいけないですね。言わないことには伝わりませんもんね。こうなると、「ロータリーに女性を」というよりも、ロータリーをまずわかっていただかなければしっかりとした会員を増やすことはできませんよね。

●山田：女性が女性を誘うことで、ロータリークラブはそんなに敷居が高いところじゃなく、男女の違いがないことを知っていただくことも教えてあげたいなと思います。



左：石井弘子さん（名古屋錦、ディスカッションリーダー）
右：澤田文雄さん（豊田東、会員増強委員会副委員長）

女性会員を増やすには？

●石井 (DL)：梅村さんのところは今度2人増えるんですね。どんなふうにお誘いしたの？

●梅村：増強はどんなクラブでも重点にしてみえると思いますが、「あえて女性を」というつもりはなくて、たまたま女性だったということです。

●山田：うちの場合は、女性に限りませんが、例会に体験に来ていただいて、そのあとに飲みにも連れて行って楽しい雰囲気味わってもらい、「入りたいな」と思ってもらえるようにしています。

●石井 (DL)：例会の体験だけではなく、そのあとに飲みに行くのがいいのでしょうか。例会

ただだと実際のところはわかりませんものね。皆さんも最後のひと押しとして工夫していらっしゃることはありますか？

●菊地：うちは特別なことは何もしてなくて、紹介者が事前にしっかりと説明しているだけです。必ず体験にはいらっしやるんですが、体験後の入会率はほぼ100%だと思います。

●山田：それはすごいですね。若い人が多いですか？

●菊地：40代後半から60代前半の方が多いですね。実際にメンバーの平均年齢が低いことは確かです。平均が50代ですので、それもあるかもしれません。

●石井 (DL)：やはり若いメンバーだと、一緒に仲間としてやっていこうという感じになりやすいかもしれませんね。

●松永：うちのクラブでは、新入会員への会費の支援制度があります。若い方は会費のことで入るのを躊躇される方もいらっしやるので、補助をしますよ、という意味で設けた制度で、特に女性に入ってもらいたいと思っています。

●石井 (DL)：今、会費についてのお話があったのですが、「ロータリーの会費は高い」という意見はどの会議でも必ず出てきます。実際にそれが入る、入らないのネックになっていると感じますか？

●梅村：誘う方は初めから「この人だったらいいだろう」ということで声をかけていらっしやると思いますので、会費が問題になったことはないです。ただ、会員数が少なくなり、事務局維持費とか運営の問題で会費を上げるという話が出た時に、「退会者が出るのでは」という声はありました。

●山田：お金のことは、皆さんわかっていて入っていらっしやるものね。お金の問題ではないと思います。やはり人間関係がうまく行くか行かないかが一番大事じゃないですか。

●杉山：だけど、例えば、私が「ロータリーに入っ

ている」と一言言っただけで、「えっ、すごいね」と言われてしまいます。「そういうのってお金持ちじゃないとだめでしょ。それに学歴もない」とって。「いやいや、そんなことは一切関係ないから」という話はするのですが、でもそういうイメージはやはりあります。それから、ネックということ言えば、お誘いする時に、「毎週例会があります、それに出られなかったらメイクアップに行ってくださいね」ということが負担になる方がみえます。

●石井 (DL)：メイクアップは説明がしにくいですよ。この頃はEクラブを使うと楽になりましたけれど。

●山田：神野ガバナーが一宮合同例会に来て下さった時、「一宮の4ロータリーは、どこにメイクアップに行ってもお金は要らないようにしたらどうですか」というアイデアをいただいたんです。そうしてもらえれば、すごく楽ですね。お金は余分にかからないし、一宮はどのクラブも同じ場所で例会をしているので夜が忙しい時は昼間の時間にやっているところへ行けます。そうすると新入会員も誘いやすくなるかなと期待しています。

●石井 (DL)：来期は入会3年未満の方は、分区内であればメイクアップ料が3回まで返ってくるようになるようです。では、そろそろ時間になりました。今日は、ここまで話していただけたのかなというように本音まで聞かせていただきました。皆さん、ありがとうございました。



ガバナー公式訪問報告(田原RAC)

2018年2月15日(木)
於:田原市商工会館

田原 RAC 会長
河合 佑紀 (田原 RAC)

2月15日、神野重行ガバナー、加藤定伸地区幹事、岡田雅隆青少年奉仕委員長をお迎えしクラブ奉仕委員会の例会で「百人一首」を行いました。

当日、例会前に地区・田原ロータリークラブ・田原ローターアクトクラブで合同ミーティングを開き、今の田原ローターアクトクラブの現状や今後の課題など話し合い来期以降に繋がる意見交換をしました。

メインテーマ前には、神野重行ガバナーから貴重なお話をしてもらいました。そのお話を聞いて私たち田原ローターアクトクラブは、2760地区の中でも会員増強の手助けや合同例会の多さなど、提唱・協力ロータリークラブに恵まれているクラブだなど改めて知る良い機会になりました。

メインテーマ「百人一首」では、みなさん真剣に札を取り合って競い、親睦を深める事ができました。最後に記念撮影をして無事終えることができました。



田原 RAC 会長 河合 佑紀



幹事 鈴木 静香

補助金管理セミナー報告



2018年2月16日（金）
於：名古屋東急ホテル バロックの間

地区ロータリー財団委員会 委員長
中村 公彦（名古屋名東 RC）

2月16日、名古屋東急ホテルにおきましてロータリー財団委員会主催の補助金管理セミナーが行われました。これは補助金事業を計画実施するにあたり8月の財団セミナーとともに受講義務があるセミナーでもあります。

まず開会の辞を神野重行ガバナーより「18～19年度のための補助金事業を計画している勉強会です。各クラブの奉仕活動に一層活用願います。」とご挨拶をいただきました。続いて服部良男 ARRFC（第2ゾーンロータリー財団地域コーディネーター補佐）は「1905年より113年を迎えるロータリーはTRF（ロータリー財団本部）の適正な財務会計のもと、ロータリー活動との両輪であることが重要な位置づけです。」と述べられました。その後は中村公彦地区ロータリー財団委員長より本日の趣旨説明をしたのち、各地区補助金委員会から、地区補助金の申請及び基本事例など画像を使って詳しく説明をしました。またグローバル補助金申請の注意事項についても説明されました。

事例として、昨年12月にグローバル補助金奨学生として帰国されました早瀬竜也さんから「平和と紛争予防／紛争解決」のスペシャリストになるべくブランダイス大学で就学された貴重な経験、地元ロータリークラブとのかかわり、将来の展望を報告していただきました。クラブの事例発表では、名古屋大須ロータリークラブの堀江英弥さんより台湾桃園での「水と衛生」に絡んだ貯水タンク事業の報告がありました。豊島徳三資金管理委員長からは補助金申請の報告と基本事項を実例など交えて報告し、神谷研資金管理副委員長からも他の事例を交えて説明しました。

講評では村井總一郎ガバナーエレクトより「補助金制度の理解と財団の仕組みを知り、人道的支援先の声を聴き支援する計画で進めてほしい」とのお話がありました。

会議終了後、早瀬竜也さんの帰国報告会が行われましたことも申し添えておきます。多くの皆様方に更なるロータリー財団への理解とご協力をお願い申し上げます。御出席をされました皆様、お疲れさまでした。



地区チーム研修セミナー開催報告



2018年2月18日(日)
於：名古屋東急ホテル

次期地区副幹事(地区チーム研修セミナー担当)
松坂 良太(豊橋 RC)

2月18日(日)、名古屋東急ホテルにて、地区チーム研修セミナーが開催されました。本セミナーは、当第2760地区の次年度の運営を担う役員・スタッフの研修と理解を深めるためのもので、今後順次開催される「会長エレクト研修セミナー」「地区研修・協議会」に向けての準備・勉強のセミナーになります。

当日は、本次年度の地区役員、8分区のガバナー補佐、分区幹事、地区の各委員長、地区スタッフ、研修委員の皆様等76名の参加で行われました。

セミナーの初めに、ガバナーエレクトから次期地区委員長26名へ委嘱状の伝達式が行われました。

セミナーは、神野重行ガバナー並びに加藤陽一次期地区研修リーダーのご挨拶から始まり、村井總一郎ガバナーエレクトの講話が行われ、パワーポイントを使いながら、国際協議会の報告・次年度RIテーマの紹介・地区活動方針並びに行動指針の説明と続きました。

RIテーマの『BE THE INSPIRATION(日本語訳：インスピレーションになろう)』を理解するための解説に引き続き、地区活動方針である『あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！～ロータリーの奉仕の理念を学び、奉仕の実践をしよう～』が伝えられ、奉仕の理念を学ぶ機会として、他クラブの例会へ出席する事が奨励され、行動指針も示されました。

講話の最後に、国際大会への積極的な参加を呼びかけ、「思い出に残る、楽しかったと言える1年にしましょう。」と締めくくられました。

休憩をはさんで、佐々木利政次期地区幹事から資料に基づき、次年度組織や運営、行事等について説明報告がなされ、質疑応答をへて研修セミナーを終了しました。

その後、会場を移動して懇親会が上村健介次期地区幹事の音頭で始まり、和やかな雰囲気の中会話が弾み、次年度村井地区チームの船出となりました。



会長エレクト研修セミナー(PETS) 開催報告

2018年3月3日(土)
於:名古屋東急ホテル

次期地区スタッフ(PETS担当)
浅倉 伸治(豊橋 RC)



3月3日(土)、名古屋東急ホテルにて、会長エレクト研修セミナー(PETS)が開催され、第2760地区内から、次期地区役員、8分区85クラブの会長エレクト他143名の参加を頂きました。本セミナーは、2018-19年度RI会長のバリー・ラシン氏の掲げるRIテーマ「BE THE INSPIRATION(日本語訳:インスピレーションになろう)」を理解し、クラブ、地区、RIの行う諸活動に対し、リーダーシップを発揮していただくための研修です。

セミナー開会の冒頭に、神野重行ガバナー、加藤陽一次期地区研修リーダーより、会長エレクトの皆様に対し、激励も含めたご挨拶を頂いた後、村井ガバナーエレクトより、1月にアメリカ・サンディエゴで開催された国際協議会の報告、並びにバリー・ラシン会長の掲げたRIテーマの解説がなされ、そのテーマに基づく、第2760地区の活動方針として、『あなたの街でロータリーを!あなたの街からロータリーを!~ロータリーの奉仕の理念を学び、奉仕の実践をしよう~』が示され、そして行動指針として以下の7つが示されました。

- ・「分区内交流活動を行おう」
- ・「工夫した例会を開催しよう」
- ・「地区HPに活動を載せよう」
- ・「会員増強を行おう(女性会員と若い会員)」
- ・「ポリオ撲滅に貢献する活動をしよう」
- ・「ロータリーデーを楽しもう」
- ・「ロータリー賞に挑戦しよう」



午後からは、WFF、ポリオ基金、米山記念奨学会、My ROTARY等、地区として継続して行う事業に対する説明と協力の依頼が行われた後、各分区に分かれてガバナー補佐を中心に分区懇談会が行われ、それぞれの分区において活発な質疑と意見交換が行われていました。村井ガバナーエレクトも、短い時間ながら、全分区の懇談会場を回り、時折質疑に対して自ら補足を行うなど精力的に動かされていました。短い時間の中でしたが、各クラブの会長エレクトのお顔からは有意義な議論が行われたように感じました。

そして、最後に村井ガバナーエレクトのまとめと田中正規ロータリーコーディネーターから講評と激励の言葉を頂き、閉会の点鐘となりました。

東三河分区I.M.報告

2018年2月17日(土)
於:ロワジールホテル豊橋

東三河分区 分区幹事
井上 穂 (豊橋ゴールデン RC)



本年度インターシティ・ミーティングは、2月17日に大須賀ガバナー補佐のもと豊橋ゴールデンロータリークラブがホストをして、ロワジールホテル豊橋にて開催致しました。I.M.のテーマを「親睦と奉仕」、分区内12クラブによる活動報告がなされたフォーラムのテーマを「～東三河のロータリークラブの絆を深めよう～我がクラブの誇る奉仕活動」と定め、午前に行われた「新会員と女性会員のつどい」を含め、大変充実した有意義なI.M.となりました。

新会員と女性会員のつどいにおいては、「明日のロータリーのために」をテーマに、入会3年未満の会員と女性会員が各テーブルに分かれ、日頃の想いやクラブへの要望など、積極的にディスカッションを行い、今後のロータリーが発展する為の貴重な意見交換の場となりました。

午前に行われた第1部のフォーラムでは、豊橋東 RC、田原パシフィック RC、豊橋ゴールデン RC、豊川宝飯 RC、渥美 RC、新城 RC の6クラブが、昼食を挟み、午後に行われた第2部のフォーラムでは、豊橋南 RC、田原 RC、豊川 RC、豊橋北 RC、蒲郡 RC、豊橋 RC の6クラブがそれぞれ活動報告を行いました。どのクラブも写真や動画を交え、工夫を凝らした分かり易く見やすい発表で、長時間に亘ったフォーラムにも関わらず、参加者の皆さんを飽きさせることなく、有意義な報告ができました。それぞれの地域に寄り添った、個性あふれる活動内容を知ることで、今後の自分たちの奉仕活動のヒントを得ることができたのではないのでしょうか。



今回の東三河分区 I.M. では参加者総勢 277 名という多くの方に豊橋の地へお越し頂きましたことを感謝申し上げます。本年度の国際ロータリーのテーマは「変化をもたらす」です。この先 10 年 20 年と持続可能なロータリーを実現するために、ロータリーは変化していかなければなりません。その為には、地域や職業、年齢の違う多くの会員がつどい、様々な意見を交わし、情報交換をすることが大切です。そして、会員の増強と女性会員の拡大を図ることが、新たな

変化をロータリーにもたらしてくれます。今回の I.M. を通して、東三河分区には素晴らしいクラブとロータリアンが多数お見えだと再認識しました。この素晴らしい仲間たちと連携して、一層の社会奉仕活動に邁進して参ります。

西名古屋分区I.M.報告

2018年2月21日(水)
於:名古屋マリオットアソシアホテル

西名古屋分区 分区幹事
白木 良彦 (名古屋東南 RC)



西名古屋分区インターシティ・ミーティング (I.M.) は、名古屋東南ロータリークラブのホストで2月21日(水)に名古屋マリオットアソシアホテルで盛大に開催されました。今回のI.M.のテーマは「今日からのロータリーを奉仕活動を通じて楽しもう」であり、クラブスローガンは「心♡ひとつに」です。

第1部の本会議では、佐久間 I.M. 実行委員長の開会挨拶、宮崎ガバナー補佐挨拶に始まり、西名古屋分区13クラブのこれまでの奉仕活動の中から、ガバナー補佐が推薦する4つのクラブの奉仕事例をそれぞれ担当するロータリアンがスクリーンに映し出されたパワーポイントで発表し、会場を埋め尽くした574名のロータリアンは全員が熱心に聞き入っていました。そして事例発表後に地区の4大奉仕委員長からそれぞれの奉仕事例の優れた点を中心にコメントを頂きました。

続いて、片山主水パストガバナー (名古屋東南 RC)、近藤雄亮パストガバナー (名古屋瑞穂 RC)、匹田雅久 (豊橋北 RC) 地区職業奉仕委員長、杉浦文雄 (刈谷 RC) 地区社会奉仕委員長、鈴木宏司 (半田南 RC) 地区国際奉仕委員長、岡田雅隆 (犬山 RC) 地区青少年奉仕委員長に登壇いただき、宮崎ガバナー補佐をコーディネーターとしてロータリーの奉仕活動について熱心なパネルディスカッションが繰り広げられ、予定した時間があっという間に過ぎました。

最後に斎藤直美 (豊田 RC) RI 理事から本会議全体の講評の中で、2時間ではとても足りない、できれば4時間は欲しいくらいの内容と充実した企画であったとのお褒めの言葉を頂戴しました。

宮崎薫ガバナー補佐の今年度の方針は「先ずは、一步を踏み出そう!」であり、今回のI.M.でロータリークラブにおける奉仕活動の勘どころから多様性にいたるまでを理解し、今後の奉仕活動を取り組む上で参考になれば幸甚であり、さらに「先ずは一步を」につながっていくことを願っていますと閉会の辞がありました。

第2部の懇親会では、ホストクラブである名古屋東南 RC の山口会長の開宴挨拶に続き、神野重行ガバナーから丁寧なる祝辞を頂きました。

続いて分区幹事の乾杯挨拶の後、一気に会場内は盛り上がりを見せ、宝塚歌劇団 OG のエンタテインメントショーも懇親会に花を添え、それは一同に会した当地区ロータリアンが「心♡ひとつに」なれた瞬間でした。

最後に玉木実行副委員長の閉会の挨拶をもって滞りなく2017-18年度西名古屋分区I.M.が無事終了しました。



南尾張分区I.M.報告

2018年2月24日(土)
於：名鉄グランドホテル

南尾張分区 ガバナー補佐
横山 明巳 (大府 RC)



南尾張分区のI.M.が2月24日に名古屋駅前の名鉄グランドホテルにて開催されました。神野ガバナーほか地区役員の方を迎え、総勢200名弱にて開催されました。南尾張分区は知多半島5市5町人口63万人の地区をベースにしています。南尾張分区の特徴は、歴史・文化・産業・交通・人材・海山の幸等恵まれた知多半島に根差した企業が多く、ロータリー歴50年を超える方も多数おられ、地域に密着した事業・活動をされている方が多い事です。



今回講師として地元大府市出身の武藤芳照博士をお招きして、「健康と長寿一転ばぬ先の杖と知恵一」にて講演をして頂きました。武藤先生はスポーツ医学、予防医学の第一人者であり、3回のオリンピックのドクターとしてもご活躍されています。日体大総合研究所所長、東京大学名誉教授等多数の組織の役員や理事長、政府諮問委員会委員長等多くの役職を兼務され、医学研究・発展に多大な貢献をされている方です。超多忙なスケジュールの中、今回は地元大府ロータリー主催ということで、優先的にご都合を合わせて頂きました。講演の内容は、ロータリアンがこれからも更に健康寿命を長く続け元気に活躍できるように日頃気を付ける事項について、特に転倒予防について難しい話をやさしく、深い話を面白くウィットに富んで楽しく話され、深く感銘を受けた内容でした。今回の講演のため各自にレジメまで用意して頂き理解が進み、非常に判り易いお話でした。出席の皆さんの高齢が幸齢になるお話でした。エキジビションは東京で活躍されている地元大府市出身のバイオリスト水野沙希さん、ピアニストの鈴木孝彦さんをお招きし、一流の演奏を感動しながら聞くことができました。今回のI.M.は、初めから終わりまで、席の移動が無いよう、同席の方々が一日一緒にいられるようテーブルを配置し、お互いの友情を育てていただく良い機会になるよう席次を決めました。ロータリーの重要な活動である友情の輪を広げる機会として、最初から最後まで和やかに開催することができました。多くの知人ができたとのお話もあり、良い企画であったと思料しています。地域をより住みやすくより良い環境になるよう、各クラブが地域に密着した活動を今後も続けられる友情の輪を広げる良いI.M.となったと確信しております。



西三河中分区I.M.報告

2018年2月24日(土)
於:岡崎市竜美丘会館 大ホール

西三河中分区 分区幹事
安福 良豊(岡崎 RC)



西三河中分区インターシティ・ミーティング (I.M.) は、岡崎ロータリークラブがホストを務め、分区内10クラブより290名の皆様にご参加を頂いて盛大に開催されました。多くのご登録に深く感謝申し上げます。

本年度は、神野ガバナーが地区のビジョンに掲げられた「10年後20年後も地区の輝きが持続可能であること」—そのためにはクラブが輝いていることが必要—と仰っておられ、クラブ戦略委員会を立ち上げクラブの方向性を決めるように促されました。

これを受けて柴田芳孝ガバナー補佐は、より柔軟に自クラブの今後を創り出す裁量権が認められ、その方向性を見つけ出すために各クラブに戦略委員会が設置され検討されておりますが、忘れてはならないことは、ロータリーの魅力は制度と活動内容のみでその価値を決められるものではなく、クラブの構成メンバーが創り出す雰囲気もクラブの魅力の一つであり、「ぜひ、あのクラブに入りたい」と外部の人々が思うような、魅力あるクラブ創りの検討を、ガバナー補佐訪問を通して各クラブにお願いされました。

今回、I.M.の主題を「ロータリーの原点」、副題を“ロータリーの過去・現在を知って、未来を語ろう”とし、クラブ戦略委員会が中心になって自クラブの分析を行い、方向性を定めた内容について発表をして頂きました。他クラブの良さ等が学べた有意義な時間でありました。

続いての特別講演では、RLI日本支部ファシリテーター委員長で国際ロータリー第2770地区パストガバナー中村靖治様(吉川RC)を講師にお招きし、「ロータリーを語ろう」～戦略計画の充実～と題してご講演を賜りました。「戦略計画は3年毎に見直すのが適切。」「リーダーシップを育てることがクラブを成功に導く大切な要素。」「会員増強も大切だが、会員を維持する努力はもっと重要。」「質の高い会員が多いクラブ程、会員増強が成されている。」最後は「ロータリーでの出会いに感謝!」でご講演を終えられました。大変勉強になったご講演を拝聴させて頂きました。その後、地区拡大委員会委員長服部良男パストガバナーより国際ロータリー第2760地区85番目、西三河中分区11番目のクラブとなる愛知三州ロータリークラブが承認された旨のご報告を頂きました。

そして後半の懇親会では、柴田芳孝ガバナー補佐、石川勝敏分区副幹事による正調岡崎五万石の弾き語りと踊りでオープニング、ガバナー補佐のご意向通り「和のおもてなし」が演出された楽しい宴となり、より一層の親睦と友好を深めることができました。



西三河分区I.M.報告

2018年2月24日(土)
於: ホテルグランドティアラ安城

西三河分区 分区幹事
鈴木 善和 (西尾 KIRARA RC)



梅の花も少し咲き始めた2月24日(土)、西三河分区 I.M. は晴天に恵まれホテルグランドティアラ安城で9クラブ 536名の全員登録により開催いたしました。

ご来賓として大村秀章愛知県知事と中村健西尾市長をお招きし、ガバナー代理として加藤定伸地区幹事、田中正規パストガバナー他6名の特別出席者、米山奨学生、青少年交換留学生3名と会員合わせて320名の出席でした。

今回の I.M. は“今日からのロータリーを楽しもう”をテーマに掲げ3部構成で執り行いました。

第1部は式典でハーモニカ奏者松田幸一はじめ3名の演奏で幕を開け、ガバナー補佐からは、挨拶の中で、規程変更についての説明があり、各クラブに戦略委員会の設置と会員増強のお願いがありました。続いて参加者の紹介があり、来賓祝辞は中村西尾市長、神野ガバナーの代理で加藤地区幹事、引き続き次年度寺部ガバナー補佐の挨拶と次年度 I.M. ホストクラブの紹介等があり閉会しました。

第2部はユダヤ問題研究者(株)リバティ情報研究所 宇野正美先生の「世界のタブー、ユダヤ問題を解く」をテーマに「世界経済と日本の行方に何が起きるか」の講演をいただきました。強烈なインパクトのあるお話で多くの出席者にたくさんの刺激を与えました。

引き続き、友愛の広場で時間を利用して、神野ガバナーの意向に従って、初めての試みとして「入会3年未満の会員のためのセミナー」を田中正規パストガバナーを講師に開催し、約50名の会員が参加しました。

第3部は懇親会で愛知県知事大村秀章様の祝辞に始まり、田中パストガバナーの乾杯で開宴し、アトラクションに東京から招いた一流のミュージシャン3名の演奏で大いに盛り上がりました。

本 I.M. は機員実行委員長のもと、西尾 KIRARA ロータリークラブ会員全員の協力で無事に終了することができました。多くの皆様のご協力に感謝致します。



東名古屋分区I.M.報告

2018年2月26日(月)
於:ホテルナゴヤキャッスル

東名古屋分区 分区副幹事
嶋谷 惺希(名古屋東 RC)



第2760地区東名古屋分区I.M.を、2018年2月26日(月)ホテルナゴヤキャッスルにて開催いたしました。

今年度のI.M.は分区テーマ『奉仕活動を計画し、行動を楽しもう』のもとに、6つの奉仕活動について事例を発表していただきました。

本日の基調講演では、インド「明日の会」モディ代表より、インドでのNPOの活動について報告をいただきました。

名古屋東RCはインド、プネー市のカラヤニナガルRC、「明日の会」と共同で、6つの小学校700名に、E-tablet教育支援活動を実施中です。また4RC奉仕活動の事例発表、NPOルーム・ツー・リード活動の報告をいたしました。

懇親会では、名古屋東ロータリークラブの西川会長よりモディ代表に、新プロジェクトであるインドの農村女性の自立を目的とした職業訓練センター建設の地区補助金事業の目録が贈呈されました。

また、懇親会のアトラクションでは、クラシックの演奏をご用意しました。ピアノ、ヴァイオリン、チェロの三重奏を聴きながら、華麗で優雅な時間を会員の皆様と共有しました。

今回のI.M.の目的は、各クラブの奉仕活動の情報を共有し、クラブの活動の参考にしてさらにレベルアップした奉仕活動を展開すること、各クラブの活動の活性化につながることを願っています。

当分区12RCにおいては、604名の登録をいただきまして、343名の会員の方に参加していただきました。2760地区神野ガバナーを初めとした地区役員の皆様、また東名古屋分区内特別出席者、ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの数多くの皆様の参加によって、かくも盛大にI.M.が開催できましたことを心より御礼申し上げます。

I.M.を開催するにあたり、ホストを務めていただいた名古屋東ロータリークラブの会員の皆様には、1年前から実行委員会を発足させ、準備をしていただいたお陰で、盛会の中、終わる事ができたことを感謝し、ここにご報告いたします。



一人一本の植樹事業 植樹式

2018年3月4日(日)
於:小牧ワイナリー ななつぼし葡萄酒工房

東尾張分区 分区幹事
中村 明 (小牧 RC)



2017-18 国際ロータリー イアン H.S ライズリー会長は、「平成 30 年 4 月 22 日の『アースデイ』までに、各会員につき少なくとも 1 本の植樹をするよう、すべてのロータリークラブにお願いしたい。この『一人一本の植樹事業』に取り組むことによって 120 万本の新しい樹木が植えられ、ロータリアン一人一人が地球の環境保全に関する問題を自覚することができる。」と提唱されています。



東尾張分区の各クラブが独自での植樹活動をすでに行っていますが、鈴木ガバナー補佐の強い要望により、東尾張分区の活動として、去る 3 月 4 日に AJU 自立の家「小牧ワイナリー」ななつぼし葡萄酒工房において、分区内の 12 クラブを初め、ロータリアン 36 名、協賛企業 2 社により葡萄の木 200 本を植樹いたしました。

ななつぼし葡萄酒工房の「ななつぼし」の由来は、「聖母マリアのおつかい」や「てんとう虫にお願いするとお天気になる」と言われるテントウ虫(学名はナナホシテントウ)で、上へ上へと向かっていく様子が縁起が良いとされています。小牧ワイナリーに植樹した葡萄の木が育ち、その木に花が咲き、縁起の良いてんとう虫がたくさん集まり、てんとう虫に見守られながら素晴らしい葡萄の実がなり、熟成され、芳醇なワインが創られていくことを願っております。

AJU 自立の家は、「持てる機能を活かす場」「暮らしの拠点としての場」「地域社会、仲間との交流の場」をまとめ、今までになかった全く新しい福祉の試みを模索している場所です。

わたしたちロータリアンは、社会奉仕・人道的奉仕の心として、少しでも小牧ワイナリーを応援したいと考えます。さらには、一人一本ではありますが、葡萄の木を植樹したことにより地球環境の保全という大きな命題に対し、貢献できれば幸いと考えます。



桜の回廊プロジェクト 東山動植物園にヤマザクラ30本と記念碑を寄付

2018年3月11日(日)
於：東山動植物園

東名古屋分区 分区幹事
野原 秀雄(名古屋東 RC)



ロータリークラブでは、人々に愛される東山植物園内の環境整備に寄与する活動を、1950年より歴史的に継続してきました。その内容は、植物の種の寄付から始まり、つつじ、椿、桜の植樹や門、時計、ベンチの整備等々と多岐に渡ります。

このたび、国際ロータリーの方針「一人一本の植樹」を受け、市内25ロータリークラブが結集し、志をひとつにして開園80年を経過した植物園の再生整備に協力させていただきました。

東山植物園には日本古来のヤマザクラを始め、全国各地から入手した約100種類、約1000本のサクラが植えられており、3月中旬から4月下旬頃まで品種ごとに見頃の時期を迎えます。同一の場所で多種類が楽しめることは特筆すべきことであります。

今回、名古屋市内の全25ロータリークラブ並びに市内3ローターアクトクラブ、4インターアクトクラブは、名古屋市千種区の東山動植物園にヤマザクラ30本と、記念碑を寄付させていただきました。

桜の回廊で行われた式典では、150人の関係者が見守る中、神野重行ガバナー、村井總一郎次年度ガバナーらロータリー関係者と、三輪友夫・名古屋市緑政土木局長、原誠・東山総合公園長、藤井辰則・東山植物園長ら名古屋市幹部がヤマザクラの苗木の根元にスコップで土をかけ、「桜の回廊」と書かれた記念碑の除幕式も行われました。

西名古屋分区宮崎ガバナー補佐は、「桜の名所になっていくのを末永く見守って」とあいさつ。三輪友夫・名古屋市緑政土木局長からは、「桜の回廊は市民の憩いの場。寄付はありがたい。」と感謝の言葉をいただきました。

来年度もヤマザクラ70～90本を寄付する予定であります。

桜の回廊は、1982年に市内のロータリークラブからの寄付を元に造園した「桜の園」を再整備し、2009年4月に一般公開されました。



ローターアクト アジア第2ゾーン会議について

2018年2月4日(日)
於：開発ビル豊橋駅前店 601 会議室

地区ローターアクト委員会 委員長
西本 一幸 (名古屋南 RC)



2月4日に豊橋の地において「2017-18年度 アジア第2ゾーン会議」が開催されました。輪番制で年に1回開催されるこの会議には、第2ゾーンに属する2580地区：東京・沖縄、2590地区：神奈川、2600地区：長野、2610地区：石川・富山、2620地区：静岡・山梨、2630地区：岐阜・三重、2750地区：東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ、2780地区：神奈川(欠席)、2820地区：茨城(全研PRのためオブザーブ出席)から28名の出席があり、ローターアクトらしく、子どもさんも一緒に和やかな会議となりました。

多くのアクターはこの日のために前日から豊橋入りし、会議だけでなく交流もしっかりと行われています。遠方から来たアクターを自宅に泊めてあげるなど、ローターアクトの活動を通じて素晴らしい友に出会っているようです。

会議は、我々ロータリアンもオブザーブ出席する中で、2020年の全国RA研修会を2760地区で開催することの確認から始まり、第2ゾーン会議の運営方法や8年に一度見直される国際ロータリーの新ゾーン体制にどう対応するかなどが闊達に議論されました。次回のアジア第2ゾーン会議は2780地区：神奈川の担当で開催されます。



地区ローターアクト海外研修について

2018年2月16日（金）～18日（日）
於：マニラ（フィリピン）

地区ローターアクト委員会 委員長
西本 一幸（名古屋南 RC）



2月16日朝、中部国際空港からフィリピン・マニラ行きの飛行機に乗り、18日までの3日間と短い日程ですが今年度の地区ローターアクトの海外研修が始まりました。ロータリーもフィリピンを支援していますがそれに合わせたわけではなく、アクターの個人的な交流に加え、APRRC（アジア・環太平洋国際会議）が7月にフィリピンで開催されることもあり研修先選ばれました。マニラは人口160万人。マニラ周辺（メトロマニラ）は1,200万人近い人口があり、世界有数の都市圏のひとつであります。

研修2日目は早朝から職業訓練学校を訪ね、ドネーションの贈呈と文化交流として日本の折り紙を用いて生徒たちと楽しく交流を行いました。昨年のお越しいただいた3780地区のChitoガバナーも挨拶に来られました。午後からはフィリピンのローターアクトの全国大会となる「PROCON」に参加し、趣向を凝らしたアトラクションやパーティーで各地のアクターと交流を深めました。

夜はアクターとは別にChitoガバナーに食事に誘われ、ロータリー同士の交流も深められました。フィリピンのロータリーは奉仕活動が盛んであり、もちろん青少年奉仕にもかなり力を入れ、なかでも6歳から11歳向けのプログラム「Rotary Kids」があるのには驚きました。まさに生まれてから死ぬまでロータリー、家族全員がロータリーという真の「ロータリーファミリー」がそこにありました。

日本とは随分ロータリーに対する考え方が違うような気がしてならないですが、世界のスタンダードは恐らく彼らであるように思います。こうした海外研修は毎回多くの気づきと学びを与えてくれる大変貴重なプログラムであり、それが毎年実施できる地区はあまり他に類がなく、国際ロータリーの名にふさわしい、本当に素晴らしい研修であると言えます。今後とも是非継続してほしい地区事業です。アクターの皆さん、どんどん参加してください！



新クラブの紹介

Rotary
第2760地区



愛知三州ロータリークラブ

当地区85番目のクラブとして、国際ロータリーへ加盟承認されました。

沿革

創立年月日 平成30年3月8日
RI加盟承認年月日 平成30年2月9日
新クラブアドバイザー 服部良男
スポンサークラブ 岡崎ロータリークラブ

会員情報(2月9日現在)

創立会員 30名(うち女性会員4名)
最年長者 71才
最年少者 30才
平均年齢 46才

クラブ情報

会長 林 和夫
幹事 岡田 邦義
例会日 毎月第2・4木曜 18時30分～19時30分
例会会場 岡崎市羽根町字若宮 30番地1 暮らしの杜 葵ホール 1F
事務局 岡崎市羽根町字若宮 30番地1 暮らしの杜 葵ホール 2F
電話番号 0564-64-3050
FAX番号 0564-64-3051
メールアドレス info@sanshu-rc.aichi.jp
取引銀行 十六銀行岡崎羽根支店



役に立つかもしれないシリーズ 11 「アースディ（水素と環境、資源の上手な使い方）」

中村修（名古屋名駅RC）

今回は、CO2削減のための「水素」と「省エネ」についてお話ししたいと思います。

水素のお話

1. はじめに

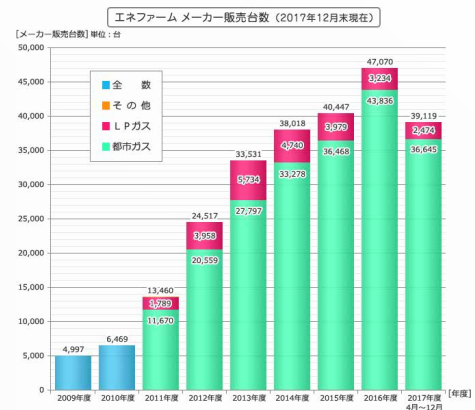
2016年11月に、気候変動への取り組みを定めた初の国際的枠組みであるパリ協定が発効され、世界的に温暖化対策の動きが加速しています。日本のCO2削減目標は、2030年に2013年比26%削減、2050年に80%削減というチャレンジングな数字を掲げていて、その達成手段の一つとして水素が期待されています。

2. 水素の利用形態

水素エネルギーの利用は、従来、ロケット燃料などに留まっていたが、近年では水素を燃料とする燃料電池自動車や家庭で発電するエネファームの普及により拡大しています。また、燃料電池バスなども実用化され水素発電や航空機燃料としての研究も進められていますので、さらなる拡大が期待されます。



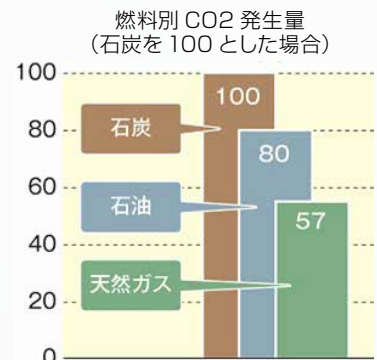
【出典】水素・燃料電池戦略ロードマップ



【出典】コージェネ財団

3. 水素の特徴と水素社会実現の課題

- (1) 水素は、燃焼しても水になるだけでCO2を排出せず環境性に優れている一方、最も軽く、一気に燃え広がる性質を持ち、炎も見えません。分子が小さいため、漏洩しやすく金属内部に侵入して強度低下を引き起こすなど、取扱いには相応のノウハウが必要となります。
- (2) 製造法は、苛性ソーダや鉄鋼等の製造過程で発生する副生水素を精製するほか、天然ガスなどの化石燃料を改質して製造する方法や、水の電気分解などがあります。
- (3) この内、天然ガスの改質は、製造過程でCO2を排出しますが、他の化石燃料より少なく済みます。加えて、CO2を分離し回収する技術（CCS; Carbon dioxide Capture and Storage）の研究も進んでおり、将来天然ガスからCO2フリー水素（CO2排出量の少ない水素）を製造することが期待されます。



【出典】東邦ガスHP

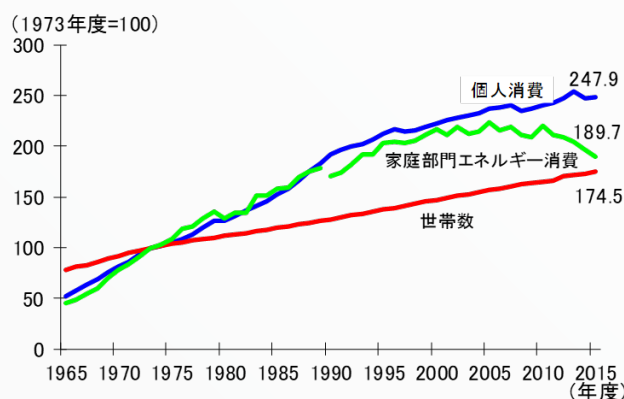
- (4) また、水の電気分解による製造は、太陽光発電などの再生可能エネルギーとの組み合わせでCO2フリー水素を製造できますが、まだコストが大きな課題となっています。再生可能エネルギーのコストが低減すれば、水素の飛躍的な普及も期待できます。
- (5) ところで、現在、燃料電池自動車・バスのための水素ステーションでは1kgあたり1,000円～1,200円で水素が充てんされています。これは、燃料電池自動車の走行性能をもとに、値段あたりの走行距離が、同じクラスのハイブリッド車と同等になるよう水素供給各社が設定した価格であり、製造原価・供給コストから積み上げられた価格ではありません。水素社会の実現には、水素コストの大幅な低減が必要です。
- (6) このように、まだ多くの課題がありますが、現在、水素の製造から利用に至るまでのサプライチェーン全体を通し、官民一体で水素社会実現に向けた取り組みが進められています。

省エネのお話

1. 家庭用エネルギー消費の現状

日本はエネルギー資源の95%を化石エネルギーに頼っているため、効率的なエネルギーの利活用によるCO2削減を目指して、世界最高水準の省エネルギー政策を推進しています。しかし、家庭部門における家電製品などの所有率の増加に伴い、個人のエネルギー消費量は伸びています。

ここでは、私たちの今の暮らしを持続可能にしていくために、私たちが個人でできる「ちょっとした省エネ行動」についてご紹介します。



[出典] エネルギー白書 2017 家庭部門におけるエネルギー消費の推移

2. 私たちができる省エネ行動

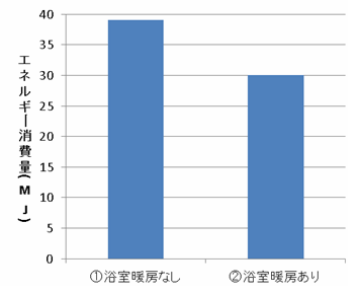
家庭部門のエネルギー用途は、大きく「給湯」「空調」「動力・照明他」の3つに分けられ、日本は他国と比べ「給湯」用途の割合が高く、約3分の1を占めています。そして、その大半は入浴によるものです。日本で内風呂が普及しはじめたのは昭和30年代。その後家庭での入浴は習慣となり、今では浴室保有率は95%以上(2008年)となっています。

入浴において、私たちができる省エネ行動は、「ためたお湯の温度を下げないこと」と「浴室を寒くしないこと」の2つです。

例えば、浴槽にためた 40℃のお湯が 2℃低下すると、6～8 畳部屋の蛍光灯照明を 3 時間つけるのと同じ、約 2MJ のエネルギー（電気代に換算すると 1,850 円 / 年）をムダにしてしまいます。このムダをなくすために、「ふたをこまめに閉め」、「家族で時間を空けずに」入浴しましょう。また、浴室が寒いとお湯の温度を上げたくなりがちですが、入浴前に浴室を暖めれば、お湯の温度と量を上げるより、エネルギー消費量は約 2 割削減※でき、実は省エネルギーなので、「浴室暖房を使う」ことをお勧めします。

※同等の温熱効果が得られる入浴環境①と②を作るのに必要なエネルギー消費量を比較。（被験者実験で確認）

- ①浴室暖房なし：浴室温度 14℃、湯温 42℃、湯量 200L
- ②浴室暖房あり：浴室温度 25℃、湯温 39℃、湯量 150L

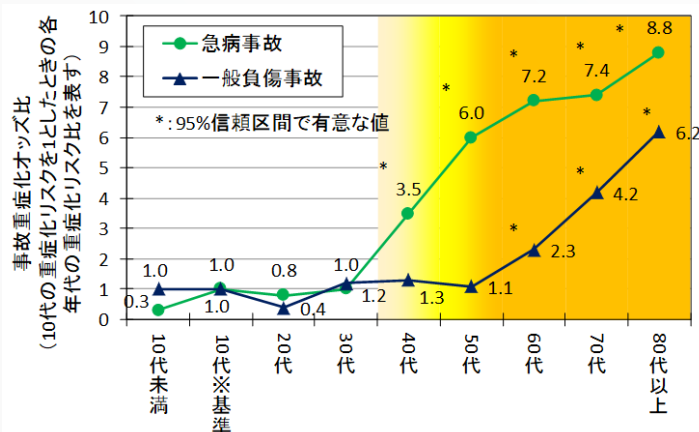


3. 浴室暖房は省エネしながら安全な入浴ができる

前述の「家族で時間を空けずに」「浴室暖房を使って」の入浴は、家庭内の不慮の事故を減らすことにもつながります。浴室で起こる事故は高齢者に多いがこと知られています。名古屋市家庭内事故データの分析によると、転倒などの一般負傷事故は 60 代から、循環器系疾患などによる急病事故は 40 代から重症化することがわかりました。「家族で時間を空けずに」入浴すれば、家族の間で誰が入浴中なのかわかるので、万一のとき早期に発見でき、事故予防につながります。そして、致死率の高い循環器系疾患による浴室事故の防止には、まずお湯と浴室との温度差を小さくすることが大切です。浴室暖房は省エネになるだけでなく、身体にやさしく安全に入浴できる有用な住宅設備の一つなのです。是非とも活用したいです。



【出典】ノーリツ HP
浴室暖房乾燥機の設置イメージ



【出典】名古屋市消防局・東邦ガス プレスリリース (H29年 12月 27日)
名古屋市における年代別浴室事故の重症化リスク (東邦ガス技術研究所調べ)

役に立つかもしれないシリーズ 12

「中」

天台宗大黒寺住職 藤井圓隆（名古屋名駅RC）

前回は、「空」（くう）と「仮」（げ）についてお話をいたしました。

「空」と「仮」は相反するようですが、実はこれは円融と言いまして、まるで不可思議千万に溶け合って全く一つのように動くのであります。

即ち、あなたも私も「空」であり実体のない存在であるが、現実的には確かに物理的に存在しておる。叩かれれば痛い、汗も出るし血も出る。しかし、存在はしているが、明日をも知れぬ、まさに水面に浮かぶ泡沫のごとき儚い存在である。

「空」と「仮」を自由に行き来する。これが「中」（ちゅう）であります。般若心経では次のように言っております。

色即是空

空即是色

色は、この世の様々な物理的存在を意味します。これは、空である、即ち実体がない。しかし空ではあるが、それがそのまま現実（仮）である、即ち色である。

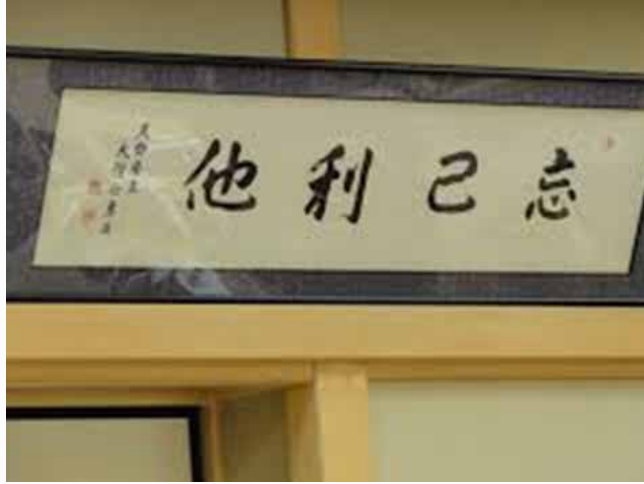
この空と仮を自由に行き来する。これが中であります。天台では、「円融三諦」というのであります。

死という観点からみると、一瞬一瞬、死に脅かされる人生ですがこれを常に意識して生きる、即ち、死につつ生きる。それは生ではあるが、死に直面した生である。先回お話しした「大死一番」の生きつつ死ぬであります。簡単にいえば覚悟であります。

「覚」は悟りを開くことで、覚悟ということは二重となっておりますが、覚悟するということは大體、死を覚悟するという意味で使われるのであります。死を意識しながら生きるというのは至難の技であります。瞬間に全身全霊をかたむけて生きるということであり、なかなかできることではない。

しかし、われわれが生きているのはこの一瞬であります。過去もなければ未来もない、信じられるのは今、生きているこの一瞬であります。この一瞬をいかに大切に生きるか、これが人生の最大の問題であります。

それにはどうしたらよいか。まず、自分から遊離することであり、自分のことばかり考えておると何も見えない。外から自分を見る。そして他人を見る。そうしたら今、何をなすべきかが見えてくる。



(第 255 代天台座主渡辺恵進書)

伝教大師最澄は、

「忘己利他（おのれを忘れて他を利する）は慈悲の極みなり」

とおっしゃいました。己を離れて初めて、外の世界がわかってくる。そして他人に優しくなれる。

悩んだ時は、自分を捨てる。「身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあり」という言葉がありますが、まさにそういうことであります。いいアイデアが浮かぶのは、そういう時であります。

日本人は、挨拶の時に頭を下げます。相手を敬います。それがどんな時でもそうします。おはようございます。ありがとうございます。あなたは大変えらいお方ですと頭を下げるわけです。それが、日本式の挨拶ですが、世界のどこにもない挨拶であります。他人をととても大切にする文化であります。あなたがあるから、わたしがある。縁起の思想であります。縁（よ）って起（お）こるから、縁起というのですが、相依相待の意味であります。自分はひとりでは存在できない、対象があるから自分の存在が確認できるというわけであります。この縁起という概念は仏教の根本をなす概念であります。この一言にすべてがあると云ってもいいほどの大事な概念であります。即ち仏教の相対性理論とも言うべき考え方であります。

他人を大事にし、他人に優しくすることが、即ち、自分を大事にするということである、これが仏教の教えであります。

風の便り

Vol.3 No.8(通刊44号)

3月となり卒業式の便りも聞かれるようになりました。ロータリー希望の風奨学生も31名がこの春、卒業の予定です。そして4月から給付開始となる三月卒業の高校生の奨学金申請の申し込みも進んでおり、事務局としては、これからが最も忙しい3ヵ月となります。

2017～2018年度 収支計算報告

2月28日現在

		12月末実績	1月末実績	2月末実績
前月繰越金		432,556,931	428,676,221	422,326,667
収入の部	支援金	3,023,526	575,028	767,819
	雑収入	0	0	133
収入合計		435,580,457	429,251,249	423,094,619
支出の部	奨学金	6,900,000	6,900,000	6,850,000
	振込手数料	0	0	0
	設備費	0	0	0
	通信費	4,236	24,582	11,745
	手数料	0	0	0
	消耗品費	0	0	0
	会議費	0	0	0
	備品費	0	0	0
	雑費	0	0	0
支出合計		6,904,236	6,924,582	6,861,745
次月繰越金		428,676,221	422,326,667	416,232,874

1月度地区別実績

2540地区	4件	229,919円	2580地区	1件	60,000円
2550地区	1件	53,500円	2760地区	1件	57,000円
2570地区	1件	67,400円	2790地区	1件	300,000円

※ 地区、クラブ、支援者名はホームページをご覧ください

奨学生の状況(単位：人数)

年度	現在	人数	前期 継続	新規	復学	退学	休学	留年	終了	停止	卒業	次期 継続
139	137	139	135	4	0	0	2	0	0	0	0	-

(注) プログラム開始以来の奨学生の素数は330名となっています

文責：委員長/地葉新司/2010-2011PG/湯上RC)

2018/03/05

東日本大震災が起こってから今年で7年。支援を必要としている人はまだ多くいます。ロータリークラブでは、さまざまな活動を継続的に行っています。その活動を熊本地震の被災地に対する活動も併せて紹介します。

「ロータリー希望の風」奨学生との懇談会を開催

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会委員長 地葉 新司（潟上RC）



協議会からは、3人のロータリアンが出席しました。奨学生たちはロータリーという名前は知っていても、どのような人たちが何をしているのかを知るのとは初めてのことでした。ロータリーの具体的な活動を紹介すると、驚かれたようで、若い世代の人たちや留学生、海外のロータリーとの交流に興味を示していました。また、これから社会人となる上で、社会人の先輩でもあるロータリアンとの交流にも興味を持ち、ロータリーの例会、地区大会への参加にも前向きな様子を感じました。

「ロータリー希望の風奨学金」以外

2011年3月11日に発生した東日本大震災で両親もしくは片親を失った遺児たちが、大学、専門学校への入学から卒業までを支援する「ロータリー希望の風奨学金」の開始から6年が経過しました。

当協議会では毎年、奨学生にアンケートを取っています。これまでの回答では、被災遺児として、支援者と直接会って話すことに躊躇ちゆうちよしているようでした。しかし回数を重ねるうちに、少しずつですが、支援してくれたロータリアンの皆さまに直接お礼を伝えたい、との回答を寄せられる奨学生も散見されるようになりました。そこで東京都を中心とした関東圏内の大学や専門学校に在籍している学生に懇談会への参加を呼び掛けたところ、4人の奨学生が参加してくれることになりました、11月12日、懇談会を開催することになりました。

参加者の出身は福島県1人、宮城県1人、岩手県2人です。被災時、彼らはまだ中高生で「ロータリー希望の風奨学金」のことは、学校の先生から勧められたり、家族が調べたりして知ったそうです。

外の奨学金も得ている奨学生もいましたが、皆アルバイトしながら学生生活を送っています。「ロータリー希望の風奨学金」は、学費や生活費として、また自分自身のさらなる成長に費やす資金として大いに役立っていて、感謝しているとのことでした。

懇談会の終わりに奨学生たちに感想を聞いたところ、「ロータリーを知らずに奨学金をもらっていたけれど、いろいろ知ることができて参加してよかった。今後も交流を続けていきたいです」とのことでした。次につながる交流が持てたと強く感じました。

協議会としては、初めて奨学生の生の声を聞く機会となりました。これからはさまざまな形で交流を図っていきたく考えています。

最後に、この懇談会の開催にあたり、ご協力いただいた第2580地区ロータリー希望の風奨学金支援特別委員会に感謝します。（第2540地区2010-11年度ガバナー）

※「ロータリー希望の風奨学金」についての詳細は『友』2017年9月号横組みP36～39をご覧ください。



ハイライトよねやま

2018.3.13

Vol.216

寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べて4.7%増（普通寄付金：0.6%増、特別寄付金：7.1%増）、約5千万円の増加となりました。2月単月の寄付額も、この3年間で最も高い額となり、財団設立50周年の下半期は順調に推移してい

ます。多くのロータリアン、学友からのご支援に心より御礼申し上げます。今年度も残り3カ月半となりました。今後ともご協力賜りますようお願いいたします。

マレーシア米山学友会総会

3月4日、マレーシア米山学友会（会長：黄麗容さん）の総会がペナンで開催されました。2016年9月の創立総会以来、初めての総会となり、学友17人のほか、日本在住の学友2人がスカイプで参加し、日本からは第2590地区前米山記念奨学委員長の高橋 敏昭氏ご夫妻が参加しました。

総会は日本語で進行され、事業報告・会計報告がなされたほか、5月からは毎月の会合を再開するなどの活動計画が活発に話し合われました。創立時の会員21人から倍増し、現在は会員数58人。黄会長は、「創立時にも来て下さった高橋さんご夫妻に学友会としての成長を

見ていただけて嬉しい。首都クアラルンプールでも会合を増やし、養護施設訪問など奉仕活動も計画していきたい」と、今後のさらなる飛躍を誓いました。



「こどもの日」に小学校支援 — タイ米山学友会 —

タイの「こどもの日」にあたる1月13日、タイ米山学友会の学友・家族30人がスパンブリー県のワットブングカー小学校を訪問して、支援プロジェクトを行いました。

同学友会が昨年初めてこの学校で奉仕活動を行った際、バンコク近郊にも関わらず、子ども



の学ぶ環境として足りないものが多いことに驚き、必要なものが揃うま

で支援を続けることを決めたそうです。今回も、学友会の会員をはじめ、企業や一般の方からの支援で集めた浄水器・ウォータークーラー・冷蔵庫・スポーツ用品・制服、文房具など多くの物資を寄贈しました。また、育ち盛りの児童たちのために、学友会からランチやアイスを提供。米山のシンボルマークをあしらった特製のTシャツも全員にプレゼントし、食後は共にゲームなどをして、笑顔のひとときを過ごしました。

同学友会のシュティカーン・テプサン会長は、「全校児童と保護者の皆さんが、私たちの訪問を心待ちにしてくれていました。子どもたちも昨年より打ち解けてくれて、充実した交流をもつことができました」と、語りました。

スリランカへ医療器具寄贈 — 第 2620 地区学友会 —

第 2620 地区（山梨県・静岡県）米山学友会が 1 月 8 日、スリランカへ第 2 回目の奉仕活動を実施しました。

今回の活動は「スリランカへの医療器具寄贈プロジェクト」です。ラシタ・エリヤワ会長（スリランカ／甲府南 RC）および有志メンバーとロータリアン計 5 人が、首都コロomboから 200km 以上離れた山岳地にあるテリペへ村を訪問。医師 1 人、医療スタッフ 8 人という小さな病院に、鼻腔栄養チューブ・血圧計・縫合セット・点滴スタンドなどさまざまな医療器具・設



備を届けました。さらに、同村にある Siduhath 学校に通う 1～6 年生 210 人に文具セットを寄贈、

記念植樹をしました。村人も多数集まり、熱烈に歓迎してくれたということです。ラシタ会長は、「この活動資金は、第 2620 地区のロータリアンや米山学友・奨学生、第 2530 地区（福島県）米山学友会、台湾米山学友会などの協力によるもの。現地での準備に協力いた

だいた学友のご家族など、皆さんに心から感謝します。これからも、有意義な活動を企画していきたい」としています。

ネパール米山学友会が無料医療キャンプを実施

ネパール米山学友会（RYSAN）では、2015 年 4 月に発生したネパール大地震の際、日本のロータリー地区・クラブ、ロータリアン、米山奨学生・学友から寄せられた総額 1,400 万円超の義援金を元に、被災学生への奨学支援や被災地への農業研修など、さまざまな復興支援活動を行っています。1 月 6 日には、その新たな施策として、無料医療キャンプを実施しました。

この医療キャンプは、RYSAN が企画し、カトマンズの脳神経専門病院やその関連機関との連携によって実現したもの。当日、RYSAN からは会長のビジャヤ・パントさん（1995-97／広島東南 RC）と会計担当役員のディーパ・ディタルさん（2009-10／岐阜西 RC）の 2 人が参加。高校生の家族 3 人も同行し、データの記録や文書

管理、写真係など、ボランティアとして活躍しました。

主に、ダーディン郡の恵まれない少数民族と地震で被災した地域の人々を対象に実施された今回のキャンプで、無料の治療・投薬を受けた患者数は、251 人にのびりました。RYSAN では来年も、地震で大きな被害を受けた地域で、同様の医療キャンプを行う予定です。



【訃報】理事 勝山國太郎氏（第 2620 地区）逝去

理事の勝山國太郎氏（第 2620 地区）が 2 月 26 日にご逝去されました。享年 88 歳でした。勝山氏は、1999-2000 年度の国際ロータリー第 2620 地区ガバナーで、1998-2001 年度に評議員、

また、2005 年 8 月からは理事に就任されて以降、13 年間にわたり、理事としてご奉仕くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)



お知らせ

【ロータリー平和フェロシップ】

ロータリー平和フェロシップの申請が開始されました。候補者がクラブや地区に問い合わせてきましたら、面接について打ち合わせ、オンライン申請書を5月31日までに地区に送付するようにご案内ください。ロータリークラブの推薦は任意ですが、地区の面接、推薦は必須です。地区は、何名でも候補者を推薦することができ、推薦に当たりDDFの配分など資金は不要です。海外からの応募者との面接には、電話やスカイプなどを利用することもできます。詳しくは、「[ロータリー平和センタープログラムロータリアンのための手引き](#)」をご参照ください。

ロータリー平和フェロシップ小委員長、補助金小委員長、奨学金小委員長のいずれかが、地区の所見を入力し、ガバナーまたは地区ロータリー財団委員長が承認して提出します。地区のオンライン手続きは「[推薦の方法](#)」をご参照ください。

・スケジュール

2018年2月1日：申請受付開始
2月～5月：地区がロータリー平和フェロシップ候補者の募集を開始
5月31日：候補者が地区に申請書を提出する締切日
7月1日：地区が候補者の推薦をロータリー財団に提出する締切日
11月：ロータリー財団による選考結果を通知

・参考資料

候補者用

「[ロータリー平和フェロシップの申請](#)」ウェブページ
「[ロータリー平和フェロシップ申請に関する説明\(英語\)](#)」

ロータリアン用

「[ロータリー平和センタープログラムロータリアンのための手引き](#)」
「[ロータリー平和フェロシップ：候補者の推薦](#)」ウェブページ



・模擬申請

[こちらのページ](#)から試験的に申請書を作成できます。これを利用することによって、ロータリー財団に何を提出する必要があるか知ることができますので、ご関心があればぜひご利用ください。

ログインパスワードは、「Forgot Password」から画面に従って設定してください。

・変更

海外で学位を取得した日本人はこれまで国際基督教大学(ICU)にも申請できましたが、この例外措置は今年から廃止されました。候補者は母国以外のロータリー平和センターで学ぶこととなります。

・ウェビナー

3月6日に、推薦手続きとオンライン申請システムに関するウェビナー(オンライン研修)「The Important Role of Rotarians & Turning Candidates into Fellows」が、英語とスペイン語で行われます。登録は[こちら](#) [英語](#) [スペイン語](#)

RIレポート

3月：\$1=¥108

2月：\$1=¥110

寄付振込先：

三井住友銀行 赤羽支店(226)

普通預金 3978101

名義：公益財団法人ロータリー日本財団

明細書送付先：kifu@rotary.org

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証 ロータリークラブの手引き](#)

寄付状況

2018年1月末現在

年次基金

日本 \$ 8,526,379

世界 \$ 67,397,651

恒久基金

日本 \$ 2,025,235

世界 \$ 14,170,047

寄付総額 世界上位3ヶ国

2月27日現在

アメリカ \$ 148,433,980

日本 \$ 12,933,379

韓国 \$ 11,508,153

日本の状況

冠名基金数 164

※地区、クラブが設立した冠名基金含む

AKS会員数 34

PHS会員数 729

目標(世界) 2017-18年度

・全体：3億6,000万ドル

・年次基金：1億3,500万ドル

・ポリオプラス基金：5,000万ドル

・恒久基金：2025年までに20億2,500万ドル

目標(日本)

・年次基金：一人当たり150ドル

・ポリオプラス：一人当たり30ドル

・恒久基金：各クラブでベネファクターまたは遺贈友の会会員を1名増やす

【IHEデルフト水教育研究所奨学金】

2018-20年度のオランダにあるIHEデルフト水教育研究所の大学院に留学するための奨学金の申請に関する情報が更新されました。申請は[補助金センター](#)から、パッケージ・グラントを選択して開始します。提出締め切りは6月15日です。

[IHEデルフト水教育研究所奨学金](#) ウェブページ
[授与と受諾の条件](#)
[申請ツールキット](#)

寄付・認証

【年次基金寄付ゼロクラブ】

クラブ会員の1人でも年次基金へご寄付いただければ、年次基金寄付ゼロクラブではなくなります。他の寄付分類を選んでご寄付くださっているクラブもありますが、年次基金へのご寄付によって集計しています。クラブへご連絡していただく際には、ご注意ください。

2018年2月27日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	24	2620	22	2740	17
2510	21	2630	6	2750	14
2520	11	2640	14	2760	7
2530	21	2650	4	2770	9
2540	15	2660	6	2780	8
2550	11	2670	9	2790	13
2560	4	2680	11	2800	3
2570	0	2690	5	2820	2
2580	0	2700	7	2830	7
2590	1	2710	4	2840	7
2600	7	2720	21	合計	330
2610	0	2730	19		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は、月次寄付レポートをご参照ください。
 <My ROTARY>運営する→各種レポート→クラブ/地区のレポート→寄付&認証→レポートを見る→月次寄付レポート> ※通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。

【DDF使用のアイデア】

管理委員会の決定にて、DDFの全額使用が奨励されています。どのように使用するか決めかねている場合は、以下のアイデアをご参考ください。

- 地域社会での奉仕活動用に地区補助金を申請する。
- 大規模な国際奉仕プロジェクトを実施するために、ほかのロータリークラブや地区と協力してグローバル補助金を申請する。(パートナーや支援を募集しているプロジェクトを探すには、[アイデア応援サイト](#)をご活用ください。)
- ポリオ撲滅活動のためにポリオプラスに寄贈する。
- ロータリー平和センターを支援するための基金へ寄贈する。
- 重点分野を指定して寄贈する。
- 他地区へ寄贈する。

DDFを寄贈する際には、「[ロータリー財団へのDDF寄贈書式](#)」を share.mailbox@rotary.org までお送り下さい。

※2017年7月1日～2018年4月30日までのポリオプラス(Miles to End Polio含む)へのDDF寄贈額上位5地区は、トロント国際大会の壇上にて発表されます。

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)
[ロータリーの日本語フェイスブック](#)
[ロータリーボイス](#)

[財務報告](#)
[組織規定](#)
[管理委員会の決定](#)

<資料>

[財務報告](#)
[2016-17年度年次報告\(オンライン版\)](#)
[2017年携帯用カード](#)
[ロータリー財団参照ガイド](#)
[地区ロータリー財団委員会要覧](#)
[地区ロータリー財団セミナーの手引\(zip\)](#)
[寄付・認証 ロータリークラブの手引き](#)
[ウェビナー「クラブのためのよくわかる寄付と認証」\(ppt\)](#)

<寄付に関するレポート>

<https://www.rotary.org/>からMy Rotaryにログインし、役職に応じてデータを閲覧できます。
[クラブと地区の運営](#)

- ポリオプラスに関するレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- 月次寄付レポート(MCR)
- 寄付者履歴レポート
- バナーレポート
- メジャードナー/アーチC.クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポートなど



ポリオプラス

【世界ポリデーに新記録達成！】

昨年(2017年)も、多くのクラブや地区によってポリオ撲滅活動が実施されました。10月24日の「世界ポリデー」には、インターネットで特別イベントの生中継が配信されました。日本からも多くの活動が登録されました。特に第2620地区(山梨・静岡)では、地区が率先して働きかけたことにより、多くのクラブでポリオ撲滅活動が実施されました。

[詳細はこちら](#)

ポリオ撲滅活動への募金額も前年度を上回りました。オンラインで寄せられた寄付額は335,000ドルで、そのうち105,000ドルは世界ポリデーのわずか1日で寄せられました。記事の続きは[こちら](#)

【野生株によるポリオ症例数】

[掲載サイト:GPEIウェブサイト\(英語\)](#)

		2018年 1月1日～ 2月21日	2017	2016
常在国	パキスタン	0	8	20
	アフガニスタン	3	14	13
	ナイジェリア	0	0	4
常在国以外	赤道ギニア	0	0	0
	イラク	0	0	0
	カメルーン	0	0	0
	シリア	0	0	0
	エチオピア	0	0	0
	ソマリア	0	0	0
	ケニア	0	0	0
世界合計		3	22	37



世界ポリデーに新記録達成！

写真:ポリオ撲滅の認識向上キャンペーンを実施したAnandindeuaロータリークラブ(ブラジル)。

写真提供:Rotary Brasil

リソース

<資料>

- [寄付者の認証](#)
- [税制上の優遇措置](#)
- [オンラインでの寄付](#)
- [認証ポイントについて](#)
- [認証ポイント使用申請書](#)
- [ポール・ハリス・ソサエティ](#)
- [ポール・ハリス・ソサエティ パンフレット](#)
- [ポール・ハリス・ソサエティ入会フォーム](#)
- [PHS認証状テンプレート](#)

ポリオ撲滅

2017-18年度会長賞

地区財団活動資金 (DDF)の寄贈:

ポリオにDDFを寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例:DDF2+WF1+ゲイツ6=9

- [2017-18年度DDF寄贈書式](#)
- [地区で利用可能なDDFの確認](#)

※ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブには、次年度に感謝状が贈られます。また、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に表彰状が贈られます。

補助金

【グローバル補助金-奨学生】

グローバル補助金奨学生で、8,9,10月に留学を開始する場合の申請書の提出は6月30日が締め切りとなります。締切は厳守で、それ以降に提出された申請書は、審査されません。

入学許可状の取得や相手クラブ・地区との連絡を早めにとるようにお願いします。

「補助金センターご利用ガイド」が更新されました。

新しくなったグローバル補助金報告書や、掲載されていなかった地区補助金報告書について追加されています。
ぜひ新しいガイドをご利用ください。

[補助金センターのご利用ガイド \(PDF\)](#)

新しくなったグローバル補助金報告書に関するウェビナー(英語)
[録画の視聴はこちら](#)

【水の重要性について考える-国連「世界水の日」】

水と衛生月間にあたり、関連情報をお伝えします。皆様の活動の参考になれば幸いです。

毎年3月22日は、国連が定めた「世界水の日」です。毎年この時期になると、世界中で水と衛生に関するイベントが開催されます。

水道をひねれば、安全・安心な水がいつでも必要な分だけ得ることができる日本では、なかなか世界の人がどのような水を飲み、どのようなトイレを使っているか考えることがありません。この機会に、世界の水と衛生問題について考えてみるのはどうでしょうか。

・持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals; SDGs)

2015年に国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)は、2016年～2030年までの15年間の国際共通目標です。17の目標、169のターゲットからなり、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを楽しむことができるよう呼びかけています。

・目標6 -安全な水とトイレを世界中に-

[すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する](#)



-世界では10人中3人が、安全に管理された飲料水を使用できていません。

-世界では5人中3人が、安全に管理されたトイレを使用できていません。また、10人に1人はトイレがなく、森や藪、砂浜などの野外で排泄しています。

[WHO/UNICEF Joint Monitoring Programme\(JMP\)英語:](#)

世界保健機関(WHO)とユニセフ(UNICEF)は、世界の水と衛生の改善状況を共同でモニタリングしており、上記のウェブサイトで知ることができます。

リソース

<補助金>

[地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野ガイド](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[経済と地域社会の発展プロジェクト戦略](#)

[基本的教育と識字率向上プロジェクト戦略](#)

[補助金を申請する](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

[グローバル補助金 研修計画](#)

[補助金による旅行](#)

[旅行禁止国のリスト](#)

<連絡先>

[補助金担当者一覧](#)

[重点分野担当マネージャーの連絡先](#)

[公式名簿](#)

<オンライン手順>

[補助金センターのご利用ガイド](#)

<資格認定>

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)

[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)

[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

<プロジェクトのヒント>

[アイデア応援サイト](#)

[プロジェクトライフサイクル](#)

[プロジェクトの閲覧](#)

[ロータリーショーケース](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金候補者のテンプレート](#)

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました

2018年2月2日～2月16日			確認分 (敬称略)		
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2680	尼崎北	武本 正照	2660	大阪東	若林 紀男
2760	豊田西	斎藤 直美	2690	岡山南	延原 正
2780	かながわ 湘南	伊藤 綾子	2690	岡山南	佐藤 芳郎
計	6名 ※日付順				

注: オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<視聴覚資料>

- [ウェビナー](#)
- [ウェビナー「クラブのためのよくわかる寄付と認証」](#)
- [ロータリーの動画ページ](#)
- [ロータリーのビデオ](#) (日本語)
- [VIMEO](#)で検索 ※こちらはロータリーのウェブサイトではありませんので検索語にRotaryを入れます。登録しなくても検索・視聴はできます。
検索例: Rotary VTT

今後の予定

3月26日 -27日	第1～3ゾーン国際ロータリー 会員基盤向上セミナー (東京)
3月26日	Million Dollar Dinner (東京)
6月23日 -27日	国際大会 (トロント)

ロータリー創立記念日:現代の「711号室」はどこに?

今から113年前、1905年2月23日にロータリーは誕生しました。場所は、シカゴのダウンタウンにあったビル内の一室。それは、4人のロータリー先駆者の一人、ガスターバス・ローアの事務所でした。

「ロータリアンが、身分の上下と貧富、人種、宗教、政党にかかわらず、みんなの親善使節であり続けますように」 ポール・ハリス
記事は[こちら](#)



国際ロータリー日本事務局財団室

清水優季

Yuki.Shimizu@rotary.org

山本律子

Ritsuko.Yamamoto@rotary.org

近藤かおり

Kaori.Kondo@rotary.org

望月彩乃

Ayano.Mochizuki@rotary.org

〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

三田国際ビル24階

Tel:03-5439-5805

Fax:03-5439-0405

(単位:米ドル)

ロータリー財団 2017-18年度 1月末 地区別寄付報告

地区	会員数	年次基金 地区目標	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	その他の基金	恒久基金	合計寄付額	同時期 前年度比				
									年次基金	ポリオ プラス	その他 の基金	恒久基金	合計
2500	2,263	70,500.00	60.15	136,118.02	18,637.56	3,150.00	6,017.86	163,923.44	80.87%	142.82%	75.00%	75.22%	84.69%
2510	2,540	145,379.00	79.01	200,695.62	20,807.21	0.00	230,000.00	451,502.83	96.01%	84.17%	-	11500.00%	191.52%
2520	2,254	53,768.00	54.99	123,949.89	13,718.67	1,050.00	1,373.70	140,092.26	72.24%	70.92%	-	45.79%	72.24%
2530	2,351	114,520.09	53.33	125,390.40	6,818.67	420.00	5,372.78	138,001.85	90.15%	25.25%	-	22.13%	72.49%
2540	1,110	43,291.82	42.50	47,174.11	1,229.78	0.00	5,250.00	53,653.89	92.19%	29.91%	-	70.00%	85.46%
2550	1,703	29,340.00	116.80	198,906.37	65,674.91	1,049.97	110,116.17	375,747.42	104.98%	505.75%	-	1103.33%	176.88%
2560	2,071	131,900.00	93.05	192,699.89	26,959.41	0.00	7,992.86	227,652.16	77.03%	122.49%	0.00%	157.39%	81.80%
2570	1,641	174,525.00	103.79	170,318.44	39,461.32	0.00	287,776.77	497,556.53	98.21%	116.49%	-	1141.32%	214.00%
2580	3,020	426,435.00	113.16	341,743.26	51,103.54	7,560.00	125,803.40	526,210.20	82.93%	103.61%	6426.39%	193.16%	99.92%
2590	2,045	267,377.29	136.77	279,704.57	64,017.71	0.00	95,406.22	439,128.50	103.04%	107.29%	-	151.44%	111.42%
2600	1,921	215,973.44	92.74	178,154.58	36,230.42	0.00	7,401.07	221,786.07	61.96%	86.20%	-	45.68%	64.15%
2610	2,624	256,050.00	83.74	219,735.12	21,102.48	6,300.00	13,000.00	260,137.60	82.01%	359.91%	-	216.67%	92.97%
2620	3,005	230,604.00	84.38	253,566.54	69,566.61	0.00	47,089.29	370,222.44	85.92%	211.32%	0.00%	95.80%	94.60%
2630	3,089	406,452.69	100.42	310,189.15	30,275.57	4,943.44	14,000.00	359,408.16	88.77%	120.85%	63.92%	71.43%	89.44%
2640	1,862	50,050.00	87.76	163,415.35	5,997.21	0.00	9,000.00	178,412.56	96.64%	44.83%	-	121.58%	93.96%
2650	4,575	224,015.00	134.09	613,445.07	73,794.66	7,875.00	96,023.28	791,138.01	95.88%	111.81%	-	89.12%	97.24%
2660	3,570	174,570.00	137.20	489,821.18	130,801.85	8,564.00	37,060.00	666,247.03	96.03%	73.65%	19.01%	46.15%	81.95%
2670	2,973	69,247.00	74.69	222,059.31	37,331.09	2,863.36	25,000.00	287,253.76	91.38%	91.32%	170.44%	-	100.59%
2680	2,794	275,024.00	86.76	242,402.23	29,177.59	7,245.00	295,363.82	574,188.64	78.76%	88.22%	153.33%	848.75%	150.95%
2690	3,023	338,354.00	106.87	323,075.36	94,513.88	1,050.00	13,000.00	431,639.24	93.09%	70.64%	20.00%	19.12%	77.90%
2700	3,144	169,418.62	57.89	181,993.02	23,851.99	0.00	0.00	205,845.01	71.63%	58.99%	0.00%	-	68.43%
2710	3,256	272,460.00	109.01	354,922.47	67,878.05	34,650.00	71,850.00	529,300.52	95.63%	98.47%	-	111.58%	104.92%
2720	2,410	12,400.00	61.70	148,695.50	12,789.61	0.00	8,376.93	169,862.04	82.03%	89.25%	-	12.87%	65.16%
2730	2,352	54,891.00	45.18	106,265.55	11,858.95	0.00	5,030.00	123,154.50	70.03%	83.06%	-	156.21%	72.77%
2740	2,231	150,916.64	53.16	118,596.43	13,293.87	0.00	5,386.04	137,276.34	107.35%	82.05%	-	76.94%	102.69%
2750	4,759	635,446.43	129.37	615,650.16	89,485.31	14,775.65	250,705.52	970,616.64	94.63%	75.19%	175.90%	98.08%	93.90%
2760	4,776	1,059,072.14	115.63	552,248.67	18,065.29	6,300.00	41,260.72	617,874.68	79.60%	84.40%	-	69.39%	79.76%
2770	2,541	296,650.00	139.40	354,226.76	85,161.71	0.00	47,601.80	486,990.27	88.66%	91.37%	0.00%	53.29%	76.46%
2780	2,328	279,360.00	129.51	301,508.27	311,518.03	0.00	23,552.76	636,579.06	97.14%	526.44%	0.00%	38.23%	139.34%
2790	2,763	273,748.35	98.28	371,553.68	43,186.04	0.00	36,906.38	351,646.10	119.29%	144.72%	-	73.52%	114.29%
2800	1,587	125,430.98	82.53	130,980.22	4,274.08	0.00	6,000.00	141,254.30	85.23%	96.48%	-	80.00%	85.29%
2820	1,955	123,297.29	132.49	259,022.31	39,000.20	1,575.00	35,117.86	334,715.37	96.01%	93.64%	75.00%	76.68%	93.15%
2830	1,156	103,708.00	69.08	79,857.53	13,489.26	0.00	13,635.11	106,981.90	95.68%	90.57%	-	816.11%	106.95%
2840	2,063	194,750.00	105.81	218,294.38	37,766.43	2,415.00	47,764.85	306,240.66	109.54%	115.25%	-	394.45%	125.43%
日本	87,755	7,448,925.78	97.16	8,526,379.41	1,608,838.96	111,786.42	2,025,235.19	12,272,239.98	89.66%	114.32%	68.29%	150.80%	98.78%
世界	1,202,918	83,894,219.41	56.03	67,397,651.07	21,550,947.69	8,944,795.98	14,170,047.08	112,063,441.82	97.34%	137.93%	143.68%	99.74%	106.42%
日本の割合	7.30%	8.88%	-	12.65%	7.47%	1.25%	14.29%	10.95%					



■公共イメージの観点からの奉仕活動

2017年4月号コーディネーターニュースへ、私は「ロータリーを正しく伝える為に、まずはロータリーの目的を分かり易く伝えるべき」と記載しました。「ロータリーの目的」を分かり易く表すと



1. 知り合いを広め奉仕の機会とする

⇒新しい仲間を増やして共に奉仕活動しよう。

2. 職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものにする。

⇒自分の職業をもっと磨きましょう。自分の職業を磨くには、まずは自分を磨く必要が有ります。つまり自分と自分の職業を磨きましょう。

⇒昨今は、職業奉仕について触れる機会が少なくなりました。

「職業奉仕云々より、会員増強と寄付を多くしよう」と声高に仰る方も居ますが、私は「会員は自分の基盤である職業をしっかり磨く事がまず大切で、その上に社会奉仕や国際奉仕が有る」事が望ましいと考えています。

3. 社会生活に於いて奉仕の理念を実行する

⇒地域社会に於いて、自分個人やクラブが地域に必要な事で周囲(自治体や他の団体)が手を差し伸べていない事業を探し、実行する事と考えます。

○永年に亘って実績を重ねてきた社会奉仕も、たまには見直したら如何でしょうか？

⇒始めた時には地域で必要な事で周囲が手を差し伸べていなかった。しかし今では社会情勢が変わり、あまり必要では無くなった、或は周囲も熱心に行っているような場合には、ロータリーは一歩下がって、別の案件を探してみる事も必要と考えます。

⇒逆に、もっと大々的に続ける必要があるのに、ロータリーだけでは成し遂げる事が出来ない大きな事業になる場合には、他の団体と共同で奉仕する事も考えてみましょう。

共同して仕事すると、相手団体の方々にロータリーの事をよく理解して頂けるでしょう。

4. ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する

⇒これは言葉の通りですが、今はポリオ撲滅に全力投球。この事をもっとアピールしましょう。

ロータリー公共イメージコーディネーター 第1ゾーン 鈴木秀憲

■ロータリーの創立記念日に因んで

2月はロータリークラブにとって創立記念の月でありました。今年で113周年を迎えることとなりました。さて、創立記念日とは、創立者の思いを再認識するとともに、今日までの変遷に思いを馳せ、また今後を考える機会でもあります。私の地区で、2月23日に必ずIMを行う区分があります。実にロータリーらしい企画だと思っております。クラブを支えている会員が、創設者の思いを一年に一度、お互いに認識する場を必ず設けているということで、とりわけ、新入会員にとっては絶好の機会であり、ロータリーのDNAを継承していく営みであるとも言えます。そして、これから地区大会が開催される地区、ロータリーの1年の締めくくりの国際ロータリー年次大会トロント大会の開催も間近です。地区大会は、ガバナーがRI会長のメッセージを伝える重要な場であり、地区の会員が一堂に集まり、各クラブが取り組んでいることを発表し、評価し合う場でもあり、そして研修の場でもありますので積極的に参加してください。国際ロータリー年次大会にも積極的に参加ください。得るものは大きいです。



今日はロータリーの組織以外でも会員との交流や研修、奉仕に取り組んでいる組織が沢山あります。そうした中でロータリーに更なる興味を持って頂くためには、会員はもとより会員予定者にも声を大にして伝えていく義務があると思います。その為には、価値ある例会、地区大会、IM、RLI等の研修に積極的に参加することが必須となります。最初からロータリーを知り尽くしている方などおりません。だからこそ是非「My ROTARY」を活用し、誰もがロータリーの知識者になっていただきたいと切に願っております。また、ゾーンごとにロータリーコーディネーターがおりますので、是非ともご活用ください。

ロータリーコーディネーター補佐 第1ゾーン 菅原裕典

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。下記の資料のご紹介を致します。

366号 文庫資料から

- ◎「ロータリーの夢と哲学～21世紀のロータリー～」
久野 薫 2018 4p
(D.2680 西播第二グループ IM 記念誌)
- ◎「人類の繁栄とロータリー運動」
中村尚義 2018 4p
(D.2680 西播第二グループ IM 記念誌)
- ◎「変えてはならないロータリーの基本理念
溢れている情報を整理して理解しましょう」
RLI 日本支部；翻訳・監修 2016 197p
- ◎「地区リーダーチームの手引き
ガバナー補佐・地区委員会委員長研修セミナーテキスト」
服部芳樹 D.2630 2018 68p
- ◎「震災を記憶にとどめ後世に伝える
復興支援・5年のあゆみ」
いわき平中央 R.C. 2016 62p
- ◎「東日本大震災支援報告書」
D.2530 2016 130p
- ◎「8・20 広島市豪雨土砂災害復興支援報告書」
D.2710 2015 76p
- ◎「災害支援プロジェクト報告書」
D.2660 2012 142p
- ◎「体験「阪神・淡路大震災」」
西宮夙川 R.C. 1997 70p

367号 文庫資料から

- ◎「ロータリーを語る」
ロータリー復帰協議会 1948 45p
- ◎「奉仕こそ我がつとめ」
小林雅一訳 東京 R.C. 1956 143p
- ◎「そろばんと論語」
塚本義隆 1974 60p
- ◎「はげすずめ」
安野譲次 1974 139p
- ◎「ロータリーの心得」
ガイ・ガンデッカー著；田中毅訳 33p
- ◎「やさしいロータリーの話 -間柄の美学-」
佐藤千壽 1984 27p
- ◎「The Meaning of Rotary ロータリー解析」
Vivian Carter 著；田中毅訳 1999 99p
- ◎「ロータリーへの道(三訂版)」
ポール・ハリス著；柴田實訳 成田 R. C. 2011 372p
- ◎「『ロータリーの理想と友愛』読本」
富田英壽編著 2016 274p

(上記申込先：ロータリー文庫)

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日

第2760地区
HPより、
随時受付中!

2017-18 年度〈ガバナー月信〉個人情報登録方法

HPアドレス▶ <https://www.rotary2760.org/g17-18/go/monthly.html>

1 上記のHPアドレス、もしくは第2760地区のHPトップの「ガバナー月信 登録受付中」のバナーよりページを開く。

2 登録フォームに自分のメールアドレスを2回入力して、登録ボタンをクリックして登録完了となります。

登録された方には、月初めに月信PDFのリンクが記載されたメールが送信されます。メール内のURLをクリックするだけで月信PDFがダウンロードされ、閲覧していただけます。

メルマガ登録

メールアドレス

(確認用)

登録

※前年度登録されていた方は、再登録の必要はありません

会員数及び出席報告 (2018年2月末)

2月会員数は、**43 (6) 名増加**で4,943 (234) 名となり、目標とする「会員増強3%以上」を達成しました！

	クラブ名	2017年7月1日		会員数		入会			退会			2月末までの増減		例会数	2月出席率
		会員数	うち女性	2月末日	うち女性	2月	うち女性	累計	2月	うち女性	累計	会員数	うち女性		
南尾張分区	半田	60	4	61	4	0	0	3	1	0	2	1	0	4	99.53%
	常滑	41	0	40	0	0	0	0	0	0	1	-1	0	4	92.10%
	東海	56	3	56	3	0	0	1	0	0	1	0	0	4	92.34%
	東知多	22	1	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	82.95%
	半田南	30	1	33	1	0	0	3	0	0	0	3	0	4	100%
	知多	23	1	23	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	73.81%
	大府	22	0	22	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4	72.21%
7RC	254	10	257	10	0	0	8	2	0	5	3	0		87.56%	
西尾張分区	一宮	102	0	106	0	0	0	10	0	0	6	4	0	4	98.11%
	津島	66	4	66	4	0	0	1	0	0	1	0	0	4	98.40%
	尾西	21	1	19	1	0	0	0	0	0	2	-2	0	3	98.25%
	一宮北	41	4	42	5	1	0	2	0	0	1	1	1	4	94.47%
	稲沢	46	1	46	1	0	0	1	0	0	1	0	0	3	88.51%
	あま	79	2	79	2	1	0	2	1	0	2	0	0	3	100%
	名古屋清須	32	2	33	2	0	0	1	0	0	0	1	0	4	82.57%
	尾張中央	31	0	32	0	1	0	1	0	0	0	1	0	4	93.38%
	一宮中央	45	6	46	6	0	0	2	0	0	1	1	0	3	95.65%
9RC	463	20	469	21	3	0	20	1	0	14	6	1		94.37%	
東尾張分区	瀬戸	59	4	60	4	1	0	2	0	0	1	1	0	4	98.30%
	犬山	53	0	55	0	0	0	2	0	0	0	2	0	4	100%
	江南	46	0	44	0	0	0	1	0	0	3	-2	0	4	88.11%
	小牧	33	1	33	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	87.22%
	春日井	53	1	52	1	0	0	1	0	0	2	-1	0	4	94.23%
	尾張旭	20	2	20	2	0	0	2	0	0	2	0	0	4	93.75%
	名古屋空港	53	1	52	1	0	0	0	0	0	1	-1	0	3	97.10%
	瀬戸北	52	7	51	7	0	0	2	0	0	3	-1	0	2	100%
	岩倉	12	1	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	88.89%
	名古屋城北	26	4	26	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	95.65%
	愛知長久手	19	5	19	5	0	0	1	0	0	1	0	0	3	87.72%
	愛知一列-Eクラブ	21	5	24	6	0	0	3	0	0	0	3	1	4	82.61%
12RC	447	31	448	32	1	0	14	0	0	13	1	1		92.80%	
西名古屋分区	名古屋	186	0	189	0	0	0	9	0	0	6	3	0	4	87.26%
	名古屋西	98	0	100	0	0	0	3	0	0	1	2	0	4	76.81%
	名古屋南	107	0	109	0	0	0	3	0	0	1	2	0	4	97.68%
	名古屋みなと	66	1	70	1	0	0	5	0	0	1	4	0	4	100%
	名古屋東南	78	6	84	9	0	0	8	0	0	2	6	3	4	82.69%
	名古屋中	132	0	136	0	0	0	4	0	0	0	4	0	3	99.73%
	名古屋瑞穂	64	0	64	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	93.22%
	名古屋大須	55	5	57	4	0	0	4	0	0	2	2	-1	4	94.58%
	名古屋栄	88	0	101	0	0	0	13	0	0	0	13	0	3	91.75%
	名古屋名南	53	9	56	9	0	0	3	0	0	0	3	0	4	92.13%
	名古屋名駅	78	7	86	7	0	0	9	0	0	1	8	0	4	99.06%
	名古屋丸の内	45	6	47	6	1	1	3	0	0	1	2	0	3	95.42%
	中部名古屋みらい	22	7	25	6	0	0	4	0	0	1	3	-1	2	88.10%
	13RC	1,072	41	1,124	42	1	1	69	0	0	17	52	1		92.19%

会員数及び出席報告 (2018年2月末)

来月以降は、記録更新を目標に皆様のご協力をお願いします！！

	クラブ名	2017年7月1日		会員数		入会			退会			2月末までの増減		例会数	2月出席率
		会員数	うち女性	2月末日	うち女性	2月	うち女性	累計	2月	うち女性	累計	会員数	うち女性		
東名古屋分区	名古屋北	103	0	106	0	1	0	9	1	0	6	3	0	4	99.71%
	名古屋東	89	0	93	0	0	0	5	0	0	1	4	0	3	92.70%
	名古屋守山	39	5	43	5	2	0	6	0	0	2	4	0	3	94.78%
	名古屋和合	96	0	93	0	0	0	3	0	0	6	-3	0	4	72.14%
	名古屋名東	61	11	63	11	2	0	5	1	0	3	2	0	4	93.17%
	名古屋名北	34	5	35	5	0	0	1	0	0	0	1	0	4	89.12%
	名古屋千種	32	2	36	5	0	0	4	0	0	0	4	3	4	90.42%
	名古屋昭和	52	3	55	4	1	0	5	0	0	2	3	1	3	99.31%
	名古屋錦	31	10	35	10	1	0	4	0	0	0	4	0	3	85.61%
	名古屋東山	33	7	34	6	0	0	3	0	0	2	1	-1	4	76.91%
	名古屋葵	19	0	20	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4	56.25%
	名古屋アリス	38	15	44	16	0	0	6	0	0	0	6	1	4	89.53%
	12RC	627	58	657	62	7	0	52	2	0	22	30	4		86.64%
東三河分区	豊橋	109	1	112	1	1	0	4	0	0	1	3	0	4	95.37%
	蒲郡	59	0	61	0	0	0	4	0	0	2	2	0	4	92.98%
	豊橋北	64	4	69	4	0	0	6	0	0	1	5	0	3	95.34%
	豊川	72	1	71	1	0	0	3	1	0	4	-1	0	4	93.33%
	田原	44	1	44	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	99.40%
	豊橋南	55	0	56	0	0	0	2	0	0	1	1	0	3	97.77%
	新城	48	2	48	2	0	0	1	0	0	1	0	0	3	82.76%
	渥美	35	1	38	1	0	0	4	0	0	1	3	0	4	84.03%
	豊川宝飯	61	2	66	2	0	0	6	0	0	1	5	0	4	93.41%
	豊橋ゴールデン	64	2	62	2	0	0	0	0	0	2	-2	0	4	94.22%
	田原パシフィック	45	1	48	1	0	0	6	0	0	3	3	0	3	81.41%
	豊橋東	43	1	43	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	86.98%
12RC	699	16	718	16	1	0	36	1	0	17	19	0		91.42%	
西三河中分区	岡崎	91	5	85	5	1	0	3	3	0	9	-6	0	4	100%
	豊田	98	1	96	1	0	0	4	1	0	6	-2	0	4	97.83%
	岡崎南	89	3	90	3	0	0	2	0	0	1	1	0	3	98.39%
	豊田西	100	0	110	0	6	0	12	0	0	2	10	0	3	100%
	岡崎東	54	1	56	1	0	0	4	0	0	2	2	0	3	100%
	豊田東	78	1	81	1	0	0	3	0	0	0	3	0	3	94.17%
	岡崎城南	65	0	65	0	0	0	2	0	0	2	0	0	3	93.46%
	豊田三好	21	0	22	1	0	0	2	0	0	1	1	1	3	82.23%
	豊田中	50	8	54	8	1	0	4	0	0	0	4	0	4	98.08%
	名古屋宮の杜	42	0	44	1	1	1	2	0	0	0	2	1	2	100%
	愛知三州※	30	4	30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
	10RC	688	19	733	25	9	1	38	4	0	23	15	2		96.42%
西三河分区	刈谷	89	6	96	6	0	0	9	0	0	2	7	0	3	100%
	安城	56	6	56	6	0	0	1	0	0	1	0	0	3	97.62%
	西尾	77	1	78	1	1	0	2	0	0	1	1	0	4	100%
	碧南	68	3	68	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	100%
	西尾一色	28	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	100%
	高浜	31	2	34	2	0	0	3	0	0	0	3	0	3	100%
	知立	59	0	58	0	0	0	0	0	0	1	-1	0	4	100%
	西尾KIRARA	54	1	54	1	0	0	2	0	0	2	0	0	4	100%
	三河安城	63	6	65	7	0	0	2	0	0	0	2	1	4	95.85%
	9RC	525	25	537	26	1	0	19	0	0	7	12	1		99.27%
2月集計	クラブ数	2017年7月1日		2月末日		入会			退会			現在までの増減		当月増減 (うち女性)	2月 (85クラブ) 平均出席率
	85クラブ	4,775	220	4,943	234	23	2	256	10	0	118	168	14		

※2018/2/9 RI加盟承認時の会員数を記載 (ただし、2月入会数には含まず、当月の増減へ反映)

表紙の解説：2760 地区女性会員座談会

3月8日、国際ロータリー第2760地区（愛知県）会員増強委員会の主催による女性会員座談会が、名古屋ビルディングにあります 東海東京証券 オルクドールサロン で開催されました。詳細は本文をご覧ください。



国際ロータリー第2760地区
2017-18 年度ガバナー

神野 重行



ガバナー事務所

〒460-0003
名古屋市中区錦二丁目15番15号 豊島ビル3階
TEL: 052-201-2760 FAX: 052-201-1670
E-mail: governor17-18@rotary2760.org
URL: <http://www.rotary2760.org/>

ロータリー財団

TEL: 052-211-2760 FAX: 052-211-0230
E-mail: fbranch@rotary2760.org

米山・青少年奉仕・青少年交換

TEL: 052-228-0808 FAX: 052-211-0230
E-mail (米山): ybranch@rotary2760.org
E-mail (青少年奉仕): youthservice@rotary2760.org
E-mail (青少年交換): yebranch@rotary2760.org

ガバナーエレクト事務所

TEL: 052-203-2760 FAX: 052-201-1670
E-mail: governor18-19@rotary2760.org